PMAJ Networking（会員交流会）
参加者アンケート結果（まとめ）

事務局

第 18 回「PMAJ ネットワーキング」2016 年 6 月 16 日（木）　18：00～21：00
「プロジェクトマネジャの育て方」
by 吉田　則子　（プロジェクト・カウンセリング・オフィス　cocokara）

概要：

「修羅場をくぐって初めて一人前のプロジェクトマネジャになれる」

「いいプロジェクトマネジャになるにはセンスと経験が必要」

・・・そんな声を聞いたことはありませんか？

P2M、PMBOK®といった知識体系を学ぶことはもちろん必須です。様々な研修を取り入れている企業も多いと思います。しかし研修等で得られた知識を実践で活かせるかどうかは、個人任せとなっているのが実情ではないでしょうか。

・　知識を実践に活かせる人と活かせない人の差は何でしょうか？

・　センスや経験だけではなく、効果的・効率的にプロジェクトマネジャを育てるためのアプローチは何があるでしょうか？

話題提供として製薬会社での研修事例を提示した上で、豊富なご経験を持つ会員の皆さまの知見をお伺いし、活発な意見交換が出来れば幸いに思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

プロフィール：　吉田　則子

プロジェクト・カウンセリング・オフィス　cocokara　代表。

某製薬会社にて、医薬開発部門のプロジェクトマネジメントオフィス（PMO）として約 12 年の経験を持つ。主に臨床試験のプロジェクトマネジメントを行い、現場のプロジェクトマネジャー・メンバー支援からトップマネジメントへのレポーティングまで幅広く担当。PMO 業務を行う中で、正確な情報を収集し適切なマネジメントを行うためには現場との信頼関係が不可欠と感じ、産業カウンセラー資格を取得。プロジェクトマネジメント及びカウンセリングスキルを生かし、社内教育（新人プロジェクトマネジメント教育、チームビルディング研修等）を数多く行う。

2015 年 8 月より「プロジェクト・カウンセリング・オフィス cocokara」を設立し、主に製薬企業での PM の発展・普及のため活動中。製薬企業の PM 勉強会である「Project Planning & Management Forum」の代表を務める。

先日は 「第 18 回 PMAJ Networking（会員交流会）-6/16」に参加頂きありがとうございます。5 名欠席され、8 名の方に参加頂きました。少数精鋭でしたが、大変内容の濃い、有意義な会合だったと思います。「プロジェクトマネジャの育て方」という魅力的なテーマ で、話題を提供頂きました、吉田則子さん（プロジェクト・カウンセリング・オフィス cocokara 代表）に改めましてお礼申し上げます。なかなか窺い知ることのできない「製薬業界の PM」について、PMO の立場から、分かり易くご紹介頂きました。業界によって、PM のあり方も、ミッションも違うということを改めて認識できました。特に、化合物レベルから承認までの成功確率約 2.5 万分の 1、「失敗 ?」するのではなく消滅する、というお
話は、他の業界では見られない特徴と思います。そのような中で、「PM の導入及び PM 人材の育成」「知識と実践」のギャップという面では、他の業界とも同様の苦労をされている様子が良く分かりました。このテーマは一朝一夕には解決できないものですが、業種をまたいで学び合うことで解決の糸口があるかも知れません。また吉田さんは、P 製薬企業の PM 勉強会である「Project Planning & Management Forum」（49 社 116 名）を 20 年に渡り主催され、その代表を努められているということにも感銘を受けました。今後も何らかの形で、PMAJ とのコラボレーションにつながればと期待しています。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：5 件）
質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？（YES：5 件）
質問２：今後も「P2M クラブ」に参加されますか？（YES：5 件）
質問 3：プログラム構成（全体）について？（良かった：5 件）
質問４：今回の話題提供について？（良かった：5 件）
（コメント）
・私の知らない製薬企業の PM の話が聞けた
・めずらしい分野の話題で興味深かったです
・テーマが良かった
質問 5：Networking（参加者交流）について？（良かった：5 件）
質問 6：事務局対応について？（良かった：5 件）
質問 7：「Networking（会員交流会）」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？（YES：0 件/NO：3 件/Other：2 件）
質問 8：「（参加者満足度）最高の P2M クラブ」へと進化させるためのアイディアが ありましたら、教えて下さい！
（なし）
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
（なし）
質問 10：その他、ご提案やご感想など、ご自由にご記入ください！
・このような会は、時間の許す限り参加したいと思います。

第 17 回「PMAJ ネットワーキング」2016 年 4 月 7 日（木） 18：00～21：00
「PM（ぴーえむ）道中（どうちゅう）膝栗毛（ひざくりげ）－Ⅱ」
by 坂井　剛太郎　（株式会社竹中土木　執行役員　国際支店長）

概要：

「膝栗毛」とは、馬（栗毛）に乗るのではなく、自らの足（膝）で漫遊して知見を広めることと聞く。今回は、プロジェクトに関わってきた履歴（PM 道）を省みて、P2M そのものに関する話題を提供したい。資料は昨年 9 月に関西例会で使用したものをバージョンアップしたものであるが、建設会社における長期にわたるノウハウの積み重ねで形成されてきた仕組みの中で先輩社員の指導で習得してきたものが、後に P2M を知ったことでどのように見えるようになったのかについて解説する。また P2M 手法習得後に実践・展開してきた導入事例について、プログラムマネジメント部分を中心に説明していくとともに、P2M の新たな可能性について提起していく。

プロフィール：　坂井　剛太郎
1982 年竹中工務店入社。タイ、アメリカを含む国内外での建築プロジェクト、業務改革プロジェクト、香港現地建設プロジェクトの技術指導等を担当。香港現地法人代表、アメリカ現地法人代表、生産系傍系会社代表を経て現職。一級建築士、一級建築施工管理技士、技術士（経営工学、総合技術監理、建設）、PMR、GRMI Diploma。

先日は「第 17 回 PMAJ Networking（会員交流会）-4/7」に参加頂きありがとう ございます。1 名欠席され、10 名の方に参加頂きましたが、大変内容の濃い有意義な会合だったと思います。「PM（ぴーえむ）道中（どうちゅう）膝栗毛（ひざくりげ）－Ⅱ」という興味深いテーマ で、話題を提供頂きました、坂井　剛太郎 さん（株式会社竹中土木　執行役員 国際支店長）に改めましてお礼申し上げます。
グローバルベースでの現場プロジェクトマネジメント及び経営者としてのプログラムマネジメントの双方での、豊富な経験と実績に基づく、具体的で説得力のあるお話を伺うことができました。それは正に、P2M の実践事例といえるものでした。「PM を知らないプロマネ」状態から、一歩一歩ステップを重ねながら、時 間を掛けて「PM/P2M 手法を導入」し、組織の価値創造につなげていった様子が 良く分かりました。参加された方も大いに満足されたことと思います。坂井さんにはまた別の機会にも、大いに活躍頂きたいと期待しています。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：5 件）
質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？（YES：5 件）
質問２：今後も「P2M クラブ」に参加されますか？（YES：5 件）
質問３：プログラム構成（全体）について？（良かった：5 件）
質問４：今回の話題提供について？（良かった：5 件）
（コメント）

・経験に基づいた話で、とても参考になった
・実践的で、さまざまな知見をお持ちの方だったので、とても参考になりました
・多くの工事 PM から経営管理に至るプロセス発展で素晴らしいと思った
質問 5：Networking（参加者交流）について？（良かった：5 件）
質問 6：事務局対応について？（良かった：5 件）
質問 7：「Networking（会員交流会）」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
（YES：0 件/NO：1 件/Other：3 件）
質問 8：「（参加者満足度）最高の P2M クラブ」へと進化させるためのアイディアが ありましたら、教えて下さい！（自由記述）
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
（なし）
質問 10：その他、ご提案やご感想など、ご自由にご記入ください！
・内容ももちろんですが、業務時間外で参加できる点は、大変嬉しいです。
・会費は事前振込かと思っていました。
　HP に当日支払いと記載頂くと良いと思います。
→今後、そのように致します。（事務局）

第 16 回「PMAJ ネットワーキング」2016 年 02 月 18 日（木）　18：00～21:00
「国際プロジェクトのリスクマネジメント」
～世界の一流コントラクターがやっていること～
by 大野　紳吾　（Systech International　アソシエイトディレクター）

概要：

日本国外でのプロジェクト遂行や海外のステークホルダーが関わる 『国際プロジェクト』 が今後益々増える事が見込まれる中、「いかに自分たちの取るリスクを抑えて利益を上げるか」について、関心を持っている方は少なくないと思います。建設プロジェクトを事例に、リスクマネジメントの実務について重要ポイントをご紹介します。

－ 国際プロジェクトにはどんなリスクがあるか？
－ リスク管理手法とその限界
－ 想定外のリスクが顕在化した時、どうする？

下記のような方に聞いて頂きたいと考えています。

1. 国際プロジェクトで発注者やベンダーと揉めている
2. 国際プロジェクトで将来揉めるのを防ぎたい
3. 国際プロジェクトを検討しているが、リスクが高そうで悩んでいる
4. リスクマネジメントに興味がある

プロフィール： 大野　紳吾
Systech International　アソシエイトディレクター
京都大学工学部卒業、IE Business School (Spain) MBA 修了。
大学卒業後、清水建設で国内プロジェクトの現場監督として働く。
その後、米系エンジ会社の Bechtel に転じ、海外プロジェクトのプロジェクトマネジャを経験。外資系保険ブローカーにて、インフラプロジェクトの発注者（銀行・商社・事業会社など）に対するリスクアドバイザー業務を行った後、現在は、国際建設プロジェクトの請負者に対して、リスクコンサルティング（契約、クレーム、紛争解決などの商務サポート）を行っている。 一級建築士、一級建築施工管理技士、英国仲裁人協会会員。

先日は 「第 16 回 PMAJ Networking（会員交流会）-2/18」に参加頂きありがとうございます。1 名欠席され、18 名の方に参加頂きましたが、大変内容の濃い有意義な会合だったと思います。「国際プロジェクトのリスクマネジメント ～世界の一流コントラクターがやっていること～」という興味深いテーマ で、話題を提供頂きました、大野紳吾様（Systech International）に改めましてお礼申し上げます。
多様な分野から参加頂きましたので、それぞれの視点から活発な議論が展開されました。多少、発散し過ぎのきらいもありましたが、CHRISTAKIS MINA さんを 交えた英語ベースでの議論は、テーマにも相応しく新鮮でした。しかし参加者の理解にバラツキがあり、また途中からの自説割り込み等で、講師には進行しづらい点があったかと思います。今後はファ

シリテーションも含め、ある程度のマナー作りが必要かも知れません。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：9 件）
質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？（YES：7 件/NO：1 件/Other：1 件）
質問２：今後も「P2M クラブ」に参加されますか？（YES：8 件/Other：1 件）
質問 3：プログラム構成（全体）について？
（良かった：5 件/改善の余地あり：3 件/その他：1 件）
質問４：今回の話題提供について？（良かった：5 件/改善の余地あり：3 件/その他：1 件）
（コメント）
・意見が少し乱立したような気がします
・資料は欲しかったと思います（社外秘部分は無しでも良いので）
・私自身は当該テーマに関する深堀をしているため、物足りない面があった
そう言った意味では参加者の理解のバラツキの影響が大きかったように思う
・もう少し、会員のレベルに合った話題を提供した方がいいのでは？
・話題提供中に、受講者側からの自説発言が多すぎた
質問 5：Networking（参加者交流）について？（良かった：8 件）
質問 6：事務局対応について？（良かった：8 件）
質問 7：「Networking（会員交流会）」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
（YES：0 件/NO：6 件/Other：2 件）
質問 8：「（参加者満足度）最高の P2M クラブ」へと進化させるためのアイディアが ありましたら、教えて下さい！（自由記述）
・テーマ、資料等については、事前に審査までいかなくとも、ある程度のスク リーニングの必要性を感じる
・もう少し、マナーを弁えた形での進行が出来ればと良いかと・・・
・発言ルールがあってもよいかなと思いました
・PMAJ の強みをもっと深堀した方がいいのでは？
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
（なし）
質問 10：その他、ご提案やご感想など、ご自由にご記入ください！
・若輩の身ながら参加し、皆様の活発なご様子に感銘を受けました
・大変充実した時間を過ごさせて頂きました
・ありがとうございました。

第 15 回「PMAJ ネットワーキング」2015 年 12 月 17 日（木）　18：00～21:00
「PM におけるメンタルモデル（精神的側面）を考える」
～ プロジェクトマネジメントに愛は必要か ～
by　井上　高正（株式会社ＩＳＣオフィス）

概要：

プロジェクトマネジメントの実践においては、たとえ知識や経験が如何に豊富であっても、これから始めるプロジェクトの結果に自信を持つことは叶わないと考えます。その前提において、数々の理論、技術、技能を学び、標準、ガイド、手引きに習熟することにより、少しでも自信を強くする努力を重ねているのだと思います。

PMAJ Networking （会員交流会） においては、多くの先達から卓越した見解、濃厚な経験談を聞かせていただき、大いに勉強させていただいておりますが、ちょっと観点を変え、PM におけるメンタルモデル（精神的側面）を考えてみたいと思います。

ホーソン実験にも指摘されるように、人間の生産活動においては、その精神的側面は決して看過できず、PM の場面でどのように影響／効果を反映していけるかを議論の題材として提起してみたいと思います。PM におけるメンタルな疾患事例が増加している中、生産性のみならず人間性の側面からも、PM のあり方について皆様からの忌憚のないご意見、ご指導を頂ければ幸いです。

プロフィール：　井上　高正　（株式会社 ISC オフィス）

東京理科大学理工学部機械工学科卒業後、S/W ハウス（20 名→40 名　：　約 4 年）、ユニバック総合研究所（約 4 年）、日本ユニシス（旧 日本ユニバック　：　約 25 年）に勤務の後独立、情報システムのコンサルティング事務所を設立（ISC オフィス）いたしました。

プログラマー、SE、PM　（7～12 案件）の業務を経験。

職業能力開発総合大学校非常勤講師（1992 年～2010 年）

保健医療福祉情報システム工業会　物流システム専門委員会委員長等（1996 年～2001 年）

昨日は 「第 15 回 PMAJ Networking（会員交流会）-12/17」に参加頂きありがとうございます。大変ユニークで有意義な会合だったと思います。「PM におけるメンタルモデル（精神的側面）を考える」～プロジェクトマネジメントに愛は必要か～という興味深いテーマで、話題を 提供頂きました、井上さんに改めましてお礼申し上げます。

従来の PM 論にありがちな「べき論」とは異なって、PM に於ける人間的な側面、いわゆる本音の議論ができ、大いに盛り上がったと思います。皆さん方の総意とし ては、「今後もこのようなテーマで更に議論を深め、メンタルな面で行き詰って いる人を支援できるのではないか、支援すべきではないか・・・」というもので はなかったかと思います。井上さんには、そのような観点から、何らかの総括 （ご提案？）を期待しています。

（参加者アンケート無し）

第 14 回「PMAJ ネットワーキング」2015 年 10 月 15 日（木）　18：00～21:00
「グローバル PM 標準の潮流と P2M の向かうべき方向性」
by　米澤 徹也 （東洋エンジニアリング(株)）
笠原 直樹 （日本電信電話(株)）

概要：

プロジェクトマネジメントの重要性とその発展は留まるところを知りません。当協会から 2014 年 4 月に P2M の改訂 3 版が出版されたのはご存知のことと思います。国際的にも 2012 年 9 月に ISO21500 「プロジェクトマネジメントの手引」 が制定公開されたのを皮切りに、2015 年 7 月には ISO21504 「ポートフォリオマネジメントの手引」 (邦訳は未定) が制定公開され、プログラムマネジメント、PM ガバナンスについても順次公開されていくことが予定されています。PMI® では 2016 年に PMBOK® ガイド 第 6 版の公開が予想されます。ヨーロッパを中心に世界 58 ヶ国の連盟組織からなる IPMA® ではその標準の中核である ICB を 2015 年 9 月に Individual Competence Baseline 4 として装いを新たにすることがアナウンスされています。

これら世界の PM 標準ならびに周辺プロダクトに関する簡単な特徴をご紹介すると同時に、世界の PM 標準の潮流を読み解き、P2M の向かうべきところについて、参加者の皆さまと情報交換やご意見を伺えればと思っております。

プロフィール：米澤　徹也 （東洋エンジニアリング（株））

東洋エンジニアリング（株）に入社後、プラント建設の設計・プロジェクトマネジメント業務を担当。現在、同社プロジェクト管理部に所属。

PMAJ 理事、PM 研究・研修部会長

PMI® 認定 PMP®

プロフィール：笠原　直樹 （日本電信電話（株））

日本電信電話（株）入社後、NTT 研究所にて、主に NTT の実サービス向け新技術導入に関する研究開発に取り組む。その後、NTT グループの事業会社、開発会社でのプロジェクトマネジャ経験を経て、現在、NTT 研究所における PMO 活動に従事。

PMAJ 理事、PM 研究・研修部会 副部会長

PMI® 認定 PMP® 、情報処理技術者試験 プロジェクトマネジャ

PM 研究・研修部会講師

昨日は 「第 14 回 PMAJ Networking（会員交流会）-10/15」に参加頂きありがとうございます。2 名欠席され、15 名の方に参加頂きましたが、大変内容の濃い有 意 義な会合だったと思います。「グローバル PM 標準の潮流と P2M の向かうべき方向性」という興味深いテーマ で、話題を提供頂きました、米澤さんと笠原さんに改めましてお礼申し上げます。多様な分野から参加頂きましたので、それぞれの視点から活発な議論が展開され ました。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：11 件）
質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？（YES：11 件）
質問２：今後も「P2M クラブ」に参加されますか？（YES：9 件/Other：2 件）
・Depends on Theme.
質問 3：プログラム構成（全体）について？（良かった：11 件）
質問４：今回の話題提供について？（良かった：10 件/改善の余地あり：1 件）
（コメント）
・かなりの労作と感じました。
・広い視野で調査した内容を明晰に整理して下さりありがたかったです。
・非常に大きなスコープを限られた時間でまとめて頂きありがとうございました。
・かなり個人の意見も出されることがあり、全体として良かったなと思います。
・話題提供として、もう少し大ぐくりにまとめて欲しい
質問 5：Networking（参加者交流）について？（良かった：11 件）
質問 6：事務局対応について？（良かった：11 件）
質問 7：「Networking（会員交流会）」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
（YES：1 件、NO：4 件、Other：6 件）
→（YES：1 件/Other：6 件）の方は、お名前をご連絡下さい。（事務局）
・「そのうちに！」よろしくお願いします。
質問 8：「（参加者満足度）最高の P2M クラブ」へと進化させるためのアイディアが ありましたら、教えて下さい！（自由記述）
・若手動員、多様な主体を呼び込む、情報発信
・リレー式に次の講師を指名して、次のフォロワーを初めから決めてしまっても 良いと思います。
・Networking の現状に満足しています。
・At this moment, I have no ideas.
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
・今回それなりに盛り上がった発言者の方々から、「次は建設、プラント系の 方」が良いと思います。
・坂井さん（竹中土木）
・大野さん（Systech International）
質問 10：その他、ご提案やご感想など、ご自由にご記入ください！
・今夕は大変たのしかったです。
・企画、運営お疲れ様です。
・お疲れ様でした。
・ありがとうございました。
・Thank you.

第 13 回「PMAJ ネットワーキング」2015 年 08 月 06 日（木）　18：00～21:00
「アジャイル / デザイン思考イノベーション」
～アジャイルとデザイン思考の統合で真の価値創造～
by　竹腰　重徳　（株式会社アイネット 代表取締役）
中谷　英雄　（株式会社ピーエム・アライメント 取締役）

概要：

グローバル化と新興国の台頭、少子高齢化の進展、消費の成熟化など、企業を取り巻く環境は大きく変わっています。激しい環境変化の中で、企業が熾烈な競争に勝ち残るために、イノベーションが求められています。イノベーションとは、新しい顧客価値を生み出すための革新の事業活動で、より良いプロダクト、より多くの便利さ、より大きな満足の提供です。顧客が求めている欲求（潜在的なものも含め）に対して、新たな方法で組み合わせて革新的なプロダクトを提供することにより、顧客に新しい価値を気づかせ、市場や社会に変化をもたらします。

イノベーションを実現するツールとして注目されているのが、「アジャイル」と「デザイン思考」です。アジャイルでは、顧客の要求を反復漸進的に開発していく方法は示されていますが、どのようにして顧客のニーズを引き出すかの方法は示されていません。この点をデザイン思考が補完します。デザイン思考チームが、顧客の現場に行って観察し、問題を探索して真の課題を見つけて解決案を創出し、それを高速にプロトタイプして、顧客のフィードバックを得ながら、顧客の真の要求を実現するプロダクトビジョンやプロダクトの機能を明確にします。アジャイル開発チームがそれを引き継いで反復漸進的に顧客価値を開発します。アジャイルとデザイン思考の統合プロセスにより、真のニーズに合った革新的な顧客価値を迅速に提供できます。

アジャイルとデザイン思考を統合して使う方法は、アジャイルとデザイン思考のマインドセット（人間中心、反復プロセス、徹底的協働、顧客との協調、失敗から学ぶなど）がほぼ同じであることもあり、スムーズに統合でき、革新的なプロダクトを創出するのに有効です。

今回の話題提供は、イノベーションを推進するツールであるアジャイル/デザイン思考統合イノベーションについての特徴・考え方を提示し、ウォータフォールが定着した文化の中で、イノベーションを実現するこの方法の普及のためにどうしたらよいか実践経験豊かな参加者の皆さんと議論できますことを期待しています。

プロフィール：竹腰　重徳　（株式会社アイネット代表取締役）
大阪大工卒、マツダ、日本 IBM を経てアイネット。PM、アジャイル、イノベーション、経営品質等のコンサルやコース開発。北大、産業技術大学の非常勤講師や板橋経営品質審査員歴。PMP®、PMI-ACP®。

プロフィール：　中谷　英雄　（株式会社ピーエム・アライメント取締役）
学習院大理卒、日本ユニシス、三井住友信託銀行を経てピーエム・アラインメント。PM、イノベーション等のコンサルやコース開発。JUAS、大手企業向け研修コース研修講師歴。

PMP®、CSM®、CSPO®。

　昨日は 「第 13 回 PMAJ Networking（会員交流会）-8/6」に参加頂きありがとう ございます。1 名欠席され、22 名の方に参加頂きましたが、大変内容の濃い有意 義な会合だったと思います。「アジャイル / デザイン思考イノベーション」～アジャイルとデザイン思考の統合で真の価値創造～という興味深いテーマで、話題を提供頂きました、竹腰さんと中谷さんに改めましてお礼申し上げます。多様な分野から参加頂きましたので、それぞれの視点から活発な議論が展開され ました。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：11 件）
質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？（YES：8 件/NO:1 件/Other：2 件））
→（NO:1 件/Other：2 件））の方は、期待外れの内容を教えて頂けないでしょうか？（事務局）
質問２：今後も「P2M クラブ」に参加されますか？（YES：10 件/Other：1 件）
質問 3：プログラム構成（全体）について？（良かった：8 件/改善の余地あり：3 件）
→（改善の余地あり：3 件）の方は、
その詳細を教えて頂けないでしょうか？（事務局）
質問４：今回の話題提供について？（良かった：10 件/改善の余地あり：1 件）
（コメント）
・デザイン思考とアジャイルを組み合わせたフレームワークの提案は興味深かった。
・異業種の話題であったが、応用・展開・検証できる内容であった。
・色々のコメントがあり、発展の可能性あり。
・議論が活発に出て素晴らしかった。
・何か足りなかった。
・コーディネート力の強化が必須である。
質問 5：Networking（参加者交流）について？（良かった：10 件/改善の余地あり：1 件）
質問 6：事務局対応について？（良かった：11 件）
質問 7：「Networking（会員交流会）」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
（YES：2 件、NO：2 件、Other：7 件）
→（YES：2 件/Other：7 件）の方は、お名前をご連絡下さい。（事務局）
質問 8：「（参加者満足度）最高の P2M クラブ」へと進化させるためのアイディアが
ありましたら、教えて下さい！（自由記述）
・自己否定の考え方。コーチングの要素を取り入れて欲しい。
→このテーマで、話題提供頂けないでしょうか？（事務局）
・次世代 IT のトレンド、AI（人工知能）を語る会
→このテーマで、話題提供頂けないでしょうか？（事務局）

・今のところ現状で良いと思います。活発な議論も貴重であり、良い雰囲気の中 で本音の出るのが楽しいと思います。
・考えてみます。
・金曜日の午後に開催頂けると有難い。（翌日が休みなので）
→会議室の予約の制約で、残念ながら、木曜日になっています。ご理解くださる ようお願いします。（事務局）
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
・日本ユニシスの石山さん
→次々回以降で、お願いしたいと思います。（事務局）
質問 10：PMAJ/P2M の認知普及拡大策のアイディアがありましたらご提案下さい！
・小規模でも良いので、サクセスストーリー（事例）を作って下さい。是非まね をしたいところが出てくると思います。
・多様な業種、世代が交流する機会を増やしましょう！
・初参加ですので勉強します。

第 12 回「PMAJ ネットワーキング」2015 年 06 月 18 日（木）　18：00～21:00
「無理をしないで成功するプロジェクトマネジメント」
～モダンプロジェクト管理 Vs アジャイルプロジェクト管理～
by 竹久　友二　（NTT データ先端技術株式会社）

概要：

「伝統的なモダンプロジェクト管理」は、ビジネス要請から要件を固め、それに基づき、設計し、開発/試験そして提供となるいわゆるウォータフォール開発を前提としたプロジェクト管理である。成功のためには上流　（システム要件定義・設計）　あるいは更に前の超上流　（ビジネス企画、戦略立案）　が重要だと言われており、これを前提に開発プロセスの中で品質を作り込んでいく方法である。しかし、特に IT システム開発では、かなり以前　（たぶん 20 年位前）　から、プロジェクト開始当初の要件定義の曖昧さ、設計品質不足等の問題から開発プロジェクトのマネジメントの難易度が高くなり、ベテランの PM でなければ成功できない状況が　（今でも）　続いている。

一方 2001 年のアジャイルソフトウェア開発宣言に端を発したアジャイル開発のプロジェクトマネジメントスタイルは、米国のソフトウェア開発コミュニティに広がっている。いまや DOD でさえもウォターフォールモデルによる失敗の経験からイテレーションを繰り返すアジャイル開発を採りいれている。アジャイルプロジェクトマネジメントの基本は、モダンプロジェクト管理の綿密な計画に基づき、PM が全てを指揮する命令タイプではなく、ビジョンの共有に基づき下から支えるサーバント型のリーダシップであり最低限のルール（例えば、毎朝会議を 10 時から 15 分行う）　と開発チームの自律　（自己組織化）　に基づいている。基本は QCD　（特にスコープ）　3 制約を守る事よりも決められた期間　（通常 2W～4W）　で動くソフトを早だし、その結果を評価し次に何を作るかを決め次の期間の開発を行う。これを一定の時期まで繰り返しプロジェクトを進めるタイプで、むしろスコープは調整される　（変化する）　という点が異なる。それが結果的にビジネス的に成功する“価値”を作り出す方法と言われている。

今回の話題提供は、両者のプロジェクトマネジメントの特徴・考え方を提示し、今後のプロジェクト管理の在り方を、実践経験豊かな参加者の皆さんと議論できますことを期待しています。

（キーワード）

伝統的プロジェクト管理、スーパーPM、アジャイルプロジェクト管理　（APM）、自己組織化　（自律したプロジェクトメンバ）、プロジェクトマネジメント 2.0、変化への対応　（しなやかさ、レジリエンス）

プロフィール：　竹久　友二

・ 東工大卒、1974 年電電公社　（横須賀通研データ通信研究部等）
・ OS、通信制御、PKG、仮想計算機システムなどのソフト開発に従事した後、テレコミュニケーションサービスの AP プラットフォーム開発や大規模システム開発の PM を経験す

る。これらのプロジェクトを通じソフトやシステム開発の実践方法、方式技術、プロジェクト管理のノウハウを体得し、1999 年 NTT データに移籍し IT プロジェクトリスク管理とプロジェクト審査の仕組み構築や問題プロジェクト撲滅の活動、PMO の立ち上げ等を行う。2004 年 NTT データ PMO 代表、2009 年先端技術、現在に至る。
現在は IT システム開発プロジェクト管理の指導やコンサルタント、PM の人材育成、学会活動等による PM スキル体系等の活動を行っている
・ PM 学会会員、PMAJ 入会予定

昨日は 「第 12 回 PMAJ Networking（会員交流会）-6/18」に参加頂きありがとう ございます。2 名欠席され、23 名の方に参加頂きましたが、大変内容の濃い有意義な会合だった と思います。「無理をしないで成功するプロジェクトマネジメント」～モダンプロジェクト管理 Vs アジャイルプロジェクト管理～という興味深い テーマにつきまして、話題を提供頂きました竹久さん（NTT データ先端技術株式会社）に改めましてお礼申し上げます。多様な分野から参加頂きましたので、それぞれの視点から活発な議論が展開され ました。～モダンプロジェクト管理 Vs アジャイルプロジェクト管理～というテーマは、商習慣（日本/米国）や業種（建築/プラント/エンジニアリング／IT/製造）、ビジネスモデル（発注側／受注側）などの違いにより、さまざまな受け止め方が あるということが改めてクローズアップされたのではないでしょうか？時間不足で中断せざるを得ませんでしたが、今後も議論を継続すべきテーマだと 感じました。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りで「参加者満足度：100%」で した。
（総数：１６件）
質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？（YES：１６件）
質問２：今後も「P2M クラブ」に参加されますか？（YES：１６件）
質問 3：プログラム構成（全体）について？（良かった：１６件）
質問４：今回の話題提供について？（良かった：１６件）
（コメント）
・参考になりました。
・参加者が多方面で良かった！
・面白かったです。学べました。
・私には少し難しかったが良かったです。
・討議、コミュニケーションの展開が面白く、楽しい時間を過ごすことができました。
・大変勉強になりまいた。私の勉強不足を実感しましたので勉強して、また参加 致します。
質問 5：Networking（参加者交流）について？（良かった：16 件）
質問 6：事務局対応について？（良かった：16 件）
質問 7：「Networking（会員交流会）」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？

（YES：3 件、NO：9 件、Other：4 件）
質問 8：「（参加者満足度）最高の P2M クラブ」へと進化させるためのアイディアがありましたら、教えて下さい！（自由記述）
・初回なので、今後にでも・・・
・多方面の PM を集めて欲しい！
・もう少し若い方も募集したら如何でしょう。
・まず良いテーマを選んで頂くことが大切だと思います。
・本日のタイムコントロールは良かったと思います。
・Q&A の時のコーディネータが居た方が良い
・スコープが定義できない仕事があるなんて、信じられません。
・今日もそうでしたが、話題提供終了までは缶ビール 1 本程度が良いかと思います。
・今日提供されたような話題では、特に情報処理産業の人間としては、発言期待、議論期待がとても多くなると思います。
→（提案）発言（質問）権の整理券を（1 枚づつ？）配る案はいかがでしょう？
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
・初回なので、今後にでも・・・
・PMR クラブとかぶりますので推薦は控えます。
質問 10：PMAJ/P2M の認知普及拡大策のアイディアがありましたらご提案下さい！
・P2M + Portfolio
・資格所有者を増やす
・参加者、関係企業への啓蒙
・勉強してアイディアを出したいと思います。
・日頃から考えておくようにします。
・本日はありがとうございました。

第 11 回「PMAJ ネットワーキング」2015 年 04 月 16 日（木）　18：00～21:00
「P2M のミッションプロファイリングと 3S モデルの活用事例」
～中食製造業の業務改革での適用事例～
by 藤澤　正則　（デリア食品株式会社）

概要：

今回はこれまで弊社で進めてきた、「P2M のミッションプロファイリングと 3S モデルの活用事例」について、皆様との議論を深めたいと考えております。

デリア食品(株)は、キユーピーグループの食品事業 5 事業の中でサラダ・惣菜事業に属し、毎日買っていただける惣菜などの商品を 365 日提供するビジネスを全国で展開しています。このマーケットは国内市場において成長性が高く、様々な業態が参入することから、競争が激しく環境変化も早くなっています。

従来のものづくりは、「確実性、継続性、標準化」をベースに進められてきました。業務改革は、「しくみを使って価値を生むサービスモデル」と「しくみを作るシステムモデル」をつないで変化に対応してきました。しかし上記のような環境変化の中にあって、プロジェクトのような「不確実性、有期性、個別性」の要素や、プログラムのような「不確実性、多義性、拡張性」の考え方を取り入れ、変化を予測しながら変化を創り出すことの必要性が出てきています。そこで P2M の特徴である、「想いやしくみをプロファイリングするスキームモデル」と「しくみを作るシステムモデル」「しくみを使って価値を生むサービスモデル」をつないだ 3S モデルで進める業務改革を、「しくみづくりと人づくり」で進めてきています。その中から、「事業内統合 PJ」「事業統合工場計画 PJ」「事業戦略構想 PJ」について、その概要をご紹介します。 この内容は「P2M クラブ-2/10」にてお話した内容を、事務局からのご要望により、再びお話させて頂くものです。多くの方のご参加をお待ちしています。

プロフィール：　藤澤　正則

1985 年東京水産大学（現　東京海洋大学）食品工学科卒、同年キユーピー(株)入社。生産部門、エンジニアリング部門に経験後、CVS 関連の組合に出向し、原料から販売までの仕組み構築 PJ などに関わる。出向終了後、2005 年より、サラダ・惣菜事業の事業などのしくみづくりや人づくりに関わっている。

現在、デリア食品(株)生産本部に在籍。2006 年より東京 P2M 研究会に参画。PMS。PMR。PMAJ 会員。国際 P2M 学会会員。日本冷凍空調学会会員。日本食品工学会会員。

昨日は 「第 11 回 PMAJ Networking（会員交流会）-4/16」に参加頂きありがとう ございます。1 名欠席され、9 名の方に参加頂きましたが、大変内容の濃い有意義な会合だったと思います。「P2M のミッションプロファイリングと 3S モデルの活用事例」という興味深い テーマにつきまして、話題を提供頂きました藤澤さんに、改めましてお礼申し上げます。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りで「参加者満足度：100%」で した。

（総数：4 件）
質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？（YES：4 件）
質問２：今後も「P2M クラブ」に参加されますか？（YES：4 件）
質問 3：プログラム構成（全体）について？（良かった：4 件）
質問４：今回の話題提供について？（良かった：4 件）
（コメント）
・ミッションプロファイリングの好事例と思われた
・ゼロベースでのプロファイリングの重要性
・個人個人が自ら動ける風土作りの重要性
・ミッションプロファイリングの事例集を作ってはどうか
・地道な P2M 実践の中からの、魅力的な言葉に感動した
・入口（“場”作り）の重要性が良く分かった
・認められて、求められる P2M、へと成長して欲しい
質問 5：Networking（参加者交流）について？（良かった：4 件）
質問 6：事務局対応について？（良かった：4 件）
質問 7：「P2M クラブ」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
（NO：3 件、Other：1 件）
質問 8：「（参加者満足度）最高の P2M クラブ」へと進化させるためのアイディアが
ありましたら、教えて下さい！（自由記述）
・過去に提言しようと思っていましたが、本日既に、考えていたことが実践されていました。
（→話題提供前は、缶ビール１本／人程度にして、講演後は、大いに 飲みながら議論したら良いと思います）
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
・ご意見無し
質問 10：その他、ご意見・ご感想をお寄せ下さい！
・ご意見無し

第 10 回「PMAJ ネットワーキング」2015 年 02 月 19 日（木）　18：00～21:00
「多国籍組織での PFI インフラ事業の顛末」
・・・by 向後　忠明　（PMAJ 理事）

概要：

今回は「多国籍チームでの事業の難しさとそれをまとめていくプロジェクトマネジメント（PM）実践力の必要性」についてお話致します。

本事例は日本、オーストラリア、インドネシア企業から構成される、インドネシアにおける SPC（特別目的会社）による PFI 事業です。その事業は開始当初から最後まで、下記のような様々な混乱・危機に見舞われ、波乱万丈のものでした。

① メーカー及び請負業者の入札での入札内容の不一致による混乱
② 建設進捗が思わしくない SPC 内部の混乱
③ 建設進捗の立て直しの混乱
④ 建設進捗の最盛期の混乱
⑤ 金融危機に伴うサバイバル期と経営体制の変更の混乱、等

戦略計画本部長として参画し、この事業に深く関わってきた立場から、これらの混乱・危機に対して、PM 実践力でいかに切り抜けてきたかの顛末を、具体的な事例に沿って分かり易くご紹介します。それを起点に皆様との議論になればと期待しています。アベノミクスで海外へのインフラ輸出事業に進出しようとしている方々には、先行事例として、参考になればと思います。奮ってご参加くださるようお待ちしています。

プロフィール：　向後　忠明

1968 年 千葉大(工)卒後日揮（株）入社。
DE 本部、国際事業本部にて各種海外 PJ に参加。
1988 年 NTTI に移籍し各種 PJ での PM、プロジェクト統括次長兼品質保証部長
1994 年 NTT 海外投資事業会社での取締役戦略計画本部長（インドネシア PFI）や執行役員（スリランカテレコム民営化）、
2002 年 NTT コム/NTT リース PM アドバイザー
現在　数社企業の技術顧問、PMAJ 理事、IPA PM コミュニティ委員、
著書 ： ワンランク上の PM を目指して他 2 冊

昨日は「第 10 回 PMAJ Networking（会員交流会）」に参加頂きましてありがとう ございます。17 名の方に参加頂き、大いに盛り上がりました。多少発散し過ぎた面もありましたが・・・？「多国籍組織でのＰＦＩインフラ事業の顛末」という興味深いテーマで貴重な話題を提供頂きました向後様に改めましてお礼申し上げます。計画通りに進まない「想定外の PM」に対処する知恵を伺えたように思います。

お寄せ頂きましたアンケート結果は下記の通りでした。（総数：5 件）

質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？（YES：3 件、NO：1 件、Other：1 件）
質問２：今後も「P2M クラブ」に参加されますか？（YES：3 件、NO：1 件、Other：1 件）
質問 3：プログラム構成（全体）について？（良かった：5 件）
質問４：今回の話題提供について？（良かった：4 件、その他：1 件）
（コメント）
・テーマが良かった
質問 5：Networking（参加者交流）について？
（良かった：3 件、改善の余地あり：1 件、その他：1 件）
質問 6：事務局対応について？（良かった：4 件、その他：1 件）
質問 7：「P2M クラブ」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
（YES：0 件、NO：2 件、Other：3 件）
質問 8：「(参加者満足度）最高の P2M クラブ」へと進化させるためのアイディアが ありましたら、教えて下さい！　（自由記述）
・会員がいかに多く参加するかが重要ですが、具体的には別途・・・
・たまには、アルコール無しでも良いかも・・・
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
・無し
質問 10：その他、ご意見・ご感想をお寄せ下さい！
・様々な交流イベントを HP で発信されるのがいいと思います（内容も含めて）
・アルコールがある場でのサロン形式は私には合いません。
正直不完全燃焼というか、せっかく時間を工夫して出席したのにがっかりです

特別篇「PMAJ シニアネットワーキング」2015 年 01 月 09 日（金）　15：00～17:00
「新春 PM 放談会」～参加者各位から議論の口火を提供頂き、それを起点に活発な「放談」を楽しみました。

概要：

2015 年の幕開けを祝いまして、「PMAJ Networking （シニア会員交流会)」特別篇として、下記要綱で「PMAJ 新年会 ～新春 PM 放談会～ 」を開催致します。 数々のプロジェクトを PM として活躍され、第一線を卒業し PM に関して経験豊富で一家言お持ちの諸先輩の方々のご参加をお待ちしています。どのような内容でも結構です、この「PM 放談会」で吐き出してみませんか？性別、年齢、業界、経験は、すべて不問です。諸先輩の話を聞きたい・交流したいと思いの現役で活動されている方々、どなたでも大歓迎です。

当日は最初に「新年の挨拶」後、ビールで乾杯。その後、参加者各自から議論の口火を提供頂き、それを起点に自由に、奔放に、放談して頂きます。あわよくば、ここで出たポイントを PM のノウハウ集として体系化することも（ぼんやりと）視野に入れています。ふるってのご参加をお待ちします。

昨日は「PMAJ Senior Networking ～新春 PM 放談会～ 」に参加頂きありがとうございます。大御所の皆様相手で、進行に難しい面があり、発散した議論になったかと思いますが、「放談会」に免じてご容赦頂きたくお願いします。中でも、議論の一つ一つには、流石に百戦錬磨の経験豊富な皆様の含蓄あるご意見に大いに感銘を受けました。

このような枠にとらわれない、大所高所からの議論は今後も有意義且つ必要ではないかと期待しますが、皆様方の総意が「年一回程度で・・・」ということでしたので、暫く時間をおきまして改めて企画したいと思っています。皆様からの忌憚のないご意見ご提案をお待ちしています。取り急ぎお礼申し上げます。

第 09 回「PMAJ ネットワーキング」2014 年 12 月 04 日（木）　18：00～21:00
「PM 放談の夕べ」～俺にも言わせろ、私も言いたい（若手と女性は大歓迎！）～
・・・by 中嶋　秀隆（話題提供：プラネット株式会社）
斎藤　雅敏（ファシリテーター）

（概要）

「あなたの PM の”キモ”は何ですか？」

「あなたのプロジェクトの成功の秘訣は何ですか？」

「あなたが仲間や後輩、若手、はたまた、子ども達に伝えたい PM のノウハウは何ですか？」　・・・

経験豊富なあなたには、必ず一家言あるでしょう。それを「PM 放談の夕べ」で吐き出してみませんか？　性別、年齢、業界、経験は、すべて不問です。どなたも大歓迎。（ただし、これからの PM を支える若手と女性はとくに大歓迎です。）

当日は最初にビールで乾杯。その後、斎藤さんがファシリテートし、中嶋さんに皮切りとして話題を提供頂きます。あわよくば、ここで出たポイントを PM のノウハウ集として体系化することも（ぼんやりと）視野に入れています。ふるってのご参加をお待ちします。

（プロフィール）　中嶋　秀隆（話題提供者）

プラネット（株）　代表取締役社長

趣味は落語鑑賞、音楽鑑賞（モダン・ジャズ、クラシック）、読書（エッセイ）、ジョークの収集（日本語・英語）、水泳、自転車。わが国の PM 研修・コンサルの草分け、PMAJ 会員、PMI 会員、同日本支部理事、ミッッション委員会委員、PMP 、プロジェクトマネジメント学会員。慶応義塾大学非常勤講師、中京大学大学院客員教授。英語のジョークを楽しむ会会員。インテルにてマイクロプロセッサーの工場立ち上げプロジェクトに参画、その後、独立。著書・訳書多数。

（プロフィール）斎藤　雅敏（ファシリテーター）

プロジェクトカウンセラー

PMAJ 認定 PMS、産業カウンセラー、ナラティブセラピスト。「プロジェクト」を一つの物語と捉え、そこに出演する登場人物、エピソード、から「そのプロジェクトに潜む悪役（問題）」を顕わにし、立ち向かうための第一歩を提供する“プロジェクトカウンセリング”を展開中。

第 08 回「PMAJ ネットワーキング」2014 年 10 月 09 日（木）　18：00～21:00

「プロジェクトマネジメントに愛は必要か？」

・・・by 井上　高正（株式会社　ISC オフィス）

（概要）

プロジェクトマネジャは何を究極の目標とするのでしょうか。過去、情報処理システム開発のプロジェクトマネジメントを経験し、未だに解にたどり着いておりません。

そもそもプロジェクトマネジャの存在は必要なのでしょうか？

何を以ってプロジェクトの成功と評価するのでしょうか？

プロジェクトを成功させる決定的要素は何なのでしょうか？

多くのご経験をお持ちの先達や、今現在プロジェクトマネジャをされておられる方、これからプロジェクトマネジャを目指す方々に議論の火種を提供し、双方向でフランクな討議を楽しみたいと思います。

（プロフィール）井上　高正（株式会社　ISC オフィス）

東京理科大学理工学部機械工学科卒業後、S/W ハウス（20 名～40 名：約 4 年）、ユニバック総合研究所（約 4 年）、日本ユニバック（その後、日本ユニシス：約 25 年）に勤務の後独立、2002 年情報システムのコンサルティング事務所を設立（ISC オフィス）しました。プログラマー、SE、PM（7～12 案件）の業務を経験。

職業能力開発総合大学校　情報システム工学科　非常勤講師（1992 年～2010 年）

保健医療福祉情報システム工業会　物流システム専門委員会　専門委員長等（1996 年～2001 年）

（参加者アンケート無し）

第 07 回「PMAJ ネットワーキング」2014 年 08 月 07 日（木）　18：00～21:00
「”アベノミクス”の成功に向けて、P2M への期待！」
・・・by 渡辺貢成様　（PMAJ 理事）

（概要）

グローバリゼーション下での経営戦略を誤った日本は 20 年の空白をへて、その再生に向けて、”アベノミクス”が提示された。アベノミクスを成功させる為には、下記の課題を克服しなければならない。

① グローバル環境下でビジネスを行う、国際常識の理解
（契約、グローバル標準、多文化理解）

② 分野ごとに異なる成功を獲得できる BM（ビジネスモデル）構築

③ 意思決定のスピード化（含むリスクマネジメント）ができる組織能力の高さ、ステークホルダー説得力、等々

幸い PMAJ には多くの P2M 資格者が存在し、課題解決のための実践力が期待されている。今回の「第 7 回 PMAJ Networking（会員交流会）」では、斯様な問題意識の下、ワールドカフェ方式で、

Ⅰ．　アベノミクスとは何で、どのような問題が存在しているかを議論する

Ⅱ．　PM(P2M)の役割を議論し、より高いレベルに到達するには何をすべきかまとめる

ことで、活発な交流を図りたいと思っています。　多くのご参加をお待ちしています。

参加者には参考資料として、

「アベノミクス成功に向け：グローバリゼーション対応プログラムマネジメント」（渡辺貢成）を事前配布します。

（プロフィール）渡辺　貢成

日揮：石油精製（ドミニカ、ブラジル）原子力事業本部副本部長、有人宇宙システム(株)（国際宇宙ステーション計画利用・運用・安全支援企業）専務、JPMF 初代事務局長、P2M ガイドブック改定委員長、PMS 講師、東北大 MOT 講師、北陸先端科学技術大学 MOT 講師、PMAJ 理事

「第 7 回 PMAJ Networking（会員交流会）-8/7」に参加頂きましてありがとうございました。如何でしたでしょうか？ 下記のような貴重なご意見をお寄せいただきました。今後の企画・運営に活かしてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：5 件）

質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？【YES：3】【NO：】【Other：】

（理由）

・興味深い話題が提供され、議論が大変盛り上がったと思います。

・講師に久しぶりにお会いでき、ご講演を聴講できた。

・いろいろな方のご意見を拝聴できた。交流を図れた。
・少人数だったので、異業種交流？という感じではありましたが、川勝さんとの出会いが自分にとってはとても有意義な会になりました。
質問２：今後も「PMAJ Networking（会員交流会）」に参加したいと思いますか？
【YES：2】【NO：】【Other：1】
（理由）
・いろいろな業種の異なった考え方に触れる良い機会となる。
・どちらとも言い切れない。折を見て参加する。
・改めて今後もよろしくお願いします。
質問３： プログラム構成（全体）についてお尋ねします。
【良かった：2】【改善の余地あり：2】【その他：】
（理由）
・流れはよかったと思いますが、全員での議論がもう少し長い方がよかったかと思います。
・時間配分に改善の余地ありと感じました。
・今回の進行方法には無理がありました。
質問４：今回の話題提供について？
【良かった：4】【改善の余地あり：】【その他：】
（理由）
・内容は大変良かったと思いますが、スライドが一部見られなかったのが残念でした。
・講師がいろいろ調査された内容が勉強になりました。
・内容は勉強になりました。
質問４-1：特に、今回初めてトライしました、ワールドカフェ方式（グループディスカッション）について？【良かった：2】【改善の余地あり：3】【その他：】
（理由）
・時間配分に改善の余地ありと感じました。
・話が拡散して雑談になる。グループ内でテーマが決まらない。
・ルールが強引過ぎたと思います。
・小学校のクラス・スタディーの様でした
・たいへん参考になる内容でした。
・ファシリテータ「マー♪」さんの進め方はたいへん素晴らしものでした。できましたら、私がお引き受けするセッションでも「マー♪」さんに進行役をお願いしたいと思いますが、可能でしょうか？
質問５：Networking（参加者交流）について？
【良かった：2】【改善の余地あり：1】【その他：】
（理由）
・講師に久しぶりにお会いでき、ご講演を聴講できた。

・いろいろな方のご意見を拝聴できた。
・若い人が少なかった
・もう少し他業種の方々に参加いただけるようにしていただきたく存じます。
質問 6：事務局対応（会費、料理及び進行方法など）について？
【良かった：2】【改善の余地あり：1】【その他：】
（理由）
・設備の不調もあり、大変だったと思います。お疲れさまでした。
・お世話様です。おにぎり（1 個/人）を配ってはいかがでしょうか。お酒を飲むため不要とする人が多いですかね。
・あの価格では十分でした。
質問 7：「(参加者満足度）最高の会員交流会」へと進化させるためのアイディアがありましたら、教えて下さい！（自由記述）
・興味深い議題と多様な人が集まることとかと思います。
・交流自体が目的のサロンになるには道が遠いと思います。
・参加を促すインセンティブを考える。
・一つ人は魅力あるテーマ。鶏と卵になりますが会場で人に出会えることを知る。
・会員の方々の貴重な時間をいただくには、それなりのメリットをつくらなければならないと思います。交流会でもいつものメンバーであれば、あの場でされる必然性はないのではないでしょうか。ＰＭはあらゆる分野に通じるものです。あまり業界を絞ってしまうと、異業種交流会という意味はなくなってしまうかと存じます。
質問 8：「会員交流会」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
【参加したい：】【参加は無理：2】【その他：1】
（理由）
・出張や急な会議等があり業務が不規則のため難しい。
・参加は無理です。
・検討させてください。
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
（自由記述）
・参加されていた、プラネットの中嶋さんが良いと思います。
質問 10：その他、どのようなことでも結構です。ご意見・ご提案をお寄せ下さい！
（自由記述）
・企画・実施、お疲れ様でした。
・いつもありがとうございます。今後とも有益な情報、よろしくお願いします！
・交流会には出られませんでしたが、最近感じていることは、P2M 的思考方法が受注者よりも発注者側に欠けている点です。特に、政府や公的機関の公募案件(プロジェクト）の屍累々の状況です。発注する方も受注する方も不都合なことは公表されませんので、マスコミ

的には余り表面化されません。しかし、発注者側と受注者側の両者は、何らかの改善策が必要と感じている状況です。この問題をP2M的アプローチで接近した場合、どの様な手法で、どの様な成果物が可能なのかの検討をPMAJ（交流会？）で検討可能な状況でしょうか。検討結果の構想又はフレームを当局に持ち込んで、それを分野別に落とし込んで、
PMAJが受注するPMAJのプロジェクト提案です。
（対応策）
・上記のようなご提案がありました。Networkingの場で議論していくかどうかも含め、次回以降の会合でご議論頂ければと期待しています。

第 06 回「PMAJ ネットワーキング」2014 年 06 月 05 日（木）　18：00～21:00

「PM の標準化動向（PM の ISO 化を中心として）」

・・・by 田島　彰二様　（戦略 PM オフィス代表、元 NEC）

（概要）

PM の ISO 化がいろいろ動いてきた。その最新動向を ISO の考え方を中心にご紹介する。特に今年の秋には、日本で PM 標準化の ISO 総会（TC258）が行われることもあり、ISO 周りを中心に、その位置づけ等を紹介する。また、その他の重要な動向として、2012 年に PMI の標準類が一斉に更新されたのを受けて、組織（Organizational Project Management; OPM）やチェンジマネジメント（Configuration Management ではなく組織全体の方向を変革する意味）の実務標準類が充実しはじめたことも紹介する。時間が許せば、AXELOS（ITIL® および PRINCE2® の新オーナー社名）、PMI GC 2014 EMEA 等の話題にも触れたい。

（プロフィール）　田島　彰二

田町の会社（NEC）に入社後、新規事業開発分野に一貫して従事。当初は、技術系システムエンジニア SE、プログラムマネージャ PM としてビデオテックス（CAPTAINS）を電電公社（当時）にシステム、サービス、プロトコルのアーキテクトとして参画。その後、プログラムマネージャ PGM、ポートフォリオマネージャ PFM の立場で、VAN（付加価値通信網）、EC・EDI（Electric Data Interchange）の事業開発、システム開発デザインを担当。さらに、デジタル情報家電ビジネス、インターネットコンテンツアグリゲションビジネス、SOHO ビジネス、ブロードバンド SL ビジネス等の事業開発責任者としても従事。2014 年 3 月末に独立。

産業技術大学院大学、金沢工業大学などで講義／講演、IPMA の PMAN(ネパールの第一回 PM 国際会議）で講演、PMIJ、PM 学会、itSMF 等でも講演、講義を担当。

ISO PC236,TC258 委員。PMP®, PMIJ では PMBOK 委員会、PFM & PGM 研究会、OPM3 研究会に所属。ITIL、itSMF のプログラム分科会に所属。ITC。電気通信主任技術者。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：6 件）

質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？【YES:6】

・PM に関する諸ガイドの位置付け・考え方などが勉強できた。

・ISO/ベストプラクティスの位置づけに興味を持った

・有益な講演でした

質問２：今後も「PMAJ Networking（会員交流会）」に参加したいと思いますか？

【YES：6】

・異業種などの自分では入手困難な情報や意見交換が出来る。

・一杯飲んでディスカッションする→Very Good!

・テーマ次第です

質問３： プログラム構成（全体）についてお尋ねします。
【良かった：4】【改善の余地あり：2】
・講演１時間は短いと思います。
・また、事前に皆がビールを飲んでしまうのは、いかがなものかと感じます（議論が深まりません）
・ビジネスイノベーションを重点的に増やして欲しい
・事務局に感謝。
【対応策】
・ビール開始のタイミングは再検討したいと思います。次回の会合でご意見を伺います。
質問４：会員様からの話題提供について？【良かった:5】【改善の余地あり:1】
・ガイドや標準を策定する側からの考え方や姿勢が多少なりとも理解できた。
・タイトルと Portfolio Management にフォーカスした内容に少々ギャップを感じましたが・・
・実例提示がもっとあればもっと良くなったと思う
・もう少しゆっくり話して欲しい
・参考になりました。ありがとうございます。
・勉強になりました。
質問５：Networking（参加者交流）について？【良かった：4】【改善の余地あり：1】
質問６：事務局対応（会費、料理及び進行方法など）について？
【良かった:5】【改善の余地あり：1】
質問７：「(参加者満足度）最高の会員交流会」へと進化させるためのアイディアがありましたら、教えて下さい！（自由記述）
・今のやり方を勧めて下さい。
・参加メンバーが固定化している感があり、新規メンバーの勧誘・参加が必要なのではないでしょうか。
・正直、一癖も二癖もある人が多く、仲間内の会合となっているので、若い人には敷居が高いと感じる
・交流会のお知らせは、協会の HP ですぐ分かるところにおいて、もっと上手に広報してください
・考えてみます。
【対応策】
・参加メンバーの固定化を打破するプログラムとプロモーションの企画・実施にチャレンジします。皆様からのご意見・ご提案を歓迎します。
・例えば、【独りで参加：1500 円／人】【二人で参加：1000 円／人】【三人で参加：500 円／人】という価格体系を検討する・・・次回の会合でご意見を伺います。
質問８：「会員交流会」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？

【参加したい：2】【参加は無理：3】【その他：1】
・時間の許す限り参加できればと考えています。
・難しい
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
（自由記述）
質問 10：その他、どのようなことでも結構です。ご意見・ご提案をお寄せ下さい！
（自由記述）
・事務局に感謝します。
・以前も書きましたが、例会との使い分けがよく分かりません。
【対応策】
・例会との差別化の一つは「交流」にフォーカスするということです。この「交流」の中から、新しい何かが生まれることを期待しています。未だ、実現できていませんが・・・
・ワールドカフェ等を取り入れて、更に「交流」が深まるよう工夫してまいります。
・「PMAJ Networking（会員交流会）」の目的としましては下記を期待しています。
→継続的な学習の場の提供
→情報交換、ベストプラクティス交換、人脈構築、異業種交流、の場の提供
→会員相互の強みを活かし合った新たなビジネス開発の機会提供
→異業種間オープンイノベーションの為の「共創の場」の提供
→PMAJ の運営活動に対してのステアリング機能の発揮、
等々、皆様への価値の提供と交流の場となるよう進めてまいります。
ありがとうございました！

第 05 回「PMAJ ネットワーキング」2014 年 04 月 03 日（月）18：00～21:00

「夢工学式発想法によるビジネスイノベーションの実践」

・・by 川勝 良昭 （経営コンサルタント（夢工学©）、韓国ソウル特別市・名誉大使＆諮問）

・・・by（ファシリテータ）佐藤 義男（BI-SIG 主査、株式会社ピーエム・アラインメント）

（概要）

① 日本は、明治維新と戦時を除き、殆どの分野で現代史上初の「構造的危機」に直面し、今も脱出できない。もしそれらの分野が「自己改革（一種の革命）」を実行せず、「今のまま」で推移すると、日本はアジアの小国に凋落する。この事を私は 20 年前から主張し、昔は厳しく批判され、今は批判されなくなりました。

② この危機を脱出し、輝かしい日本を築く主体者は、政治家でも、官僚でもなく、企業人です。しかし「改善の経営」でなく、新事業を生みだす「改革の経営（ビジネス・イノベーション）」が不可欠です。　この改革は優れた「発想（思考）」と真の「発汗（行動）」ができる人物によって初めて成功すると考えています。この考えによる、発想と発汗に役立つ「夢工学式発想法」をご紹介致します。

③ 本発想法は、発想のルールやマニュアル等の面倒な習得は一切不要です。もし発想を生む「パワー」と発想の「原理」を知り、「発想促進方法」と「発想妨害排除方法」を実践すれば、「誰でも、何についても、いつからでも」活用できる発想法です。また本発想法を活用して私自身が発明した実例や新しく発想したコンセプトやアイディアによって実現した新しい事業プロジェクトの実例などをご紹介致します。

④ 皆様どうか、本発想法をご活用され、「改革の経営（ビジネス・イノベーション）を成功させて下さい。

（プロフィール）川勝 良昭

経営コンサルタント（夢工学©）、韓国ソウル特別市・名誉大使 ＆ 諮問官、中国政法大学客座教授、プロジェクトマネジメント協会理事、各種企業の顧問。

以前、岐阜県理事、新潟県参与、新日本製鐵(株)、セガを歴任。岐阜聖徳学園大学、法政大学、東京大学、亜細亜大学、岐阜県立大学等の客員教授、特任教授等。

早稲田大学第一法学部卒。産官学の 3 分野を経験。既存事業の改善と新規事業実現が得意。専門分野は夢工学と夢工学式実践論（経営戦略論、ベンチャー起業論、エンタテイメント論、発想法、悪夢工学等）。

お忙しい中、「第 5 回 PMAJ Networking（会員交流会）-4/3」に参加頂きましてありがとうございます。如何でしたでしょうか？　下記の如く、様々なご意見・ご感想をお寄せ頂きましてありがとうございます。今後の企画・運営に活かしてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：9 件）

質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？【YES：９】
・楽しかった
・発想の基礎を確認した
・川勝氏のお話を伺えたので良かった
・自分に合った発想法を学ぶことが出来ました
・夢の具体的アウトプットする重要性を学べました
・興味深い話題と和気あいあいとした雰囲気で大変盛り上がったと思います。
・やはり Live で聞くのと、紙・HP のジャーナルで読むのでは、伝わり方が違います。益々勉強したくなりました。
質問２：今後も「PMAJ Networking（会員交流会）」に参加したいと思いますか？
【YES：９】
・多様な人と知り合える
・楽しく議論できた
・さまざまな業界の生の声を聞けてためになりました
・自分をポジティブな場所に置きたい
・いろいろな人のお話を聞けるので
・いろいろな業種の異なった考え方に触れる良い機会となるので
・続けて良いテーマの講演がありました。お世話様です
・今回はアンダー50 が結構参加されていたので良かった。
・短時間でのやりとりでは納得しない議論も、自分の常識を疑うきっかけになると思います。
質問３： プログラム構成（全体）についてお尋ねします。【良かった：７】
・ざっくばらんに議論できた
・話が飽きずに全て聞けた
・プレゼンとネットワーキングのバランスがよかった
・歓談→講演→議論というのはよい流れと思います
【改善の余地あり：２】
・議論の時間が短い気がする
・どのような設定でも改善の余地はあると思います
・参加者プロフィールを元に、最初 30 分自己紹介して、その後 30 分交流歓談、そして 1 時間の講演＋質疑応答、時間の許す人は最後まで飲みながら、・・位が良いと思います。
質問４：会員様からの話題提供について？
「夢工学式発想法によるビジネスイノベーションの実践」
川勝良昭様 （経営コンサルタント（夢工学©)、韓国ソウル特別市・名誉大使＆諮問）
（ファシリテータ）佐藤義男様（BI-SIG 主査、株式会社ピーエム・アラインメント）
【良かった：８】

・実践で役立つ知識でした
・書籍を読みたいと思います
・周到にご準備くださり、感謝に堪えません
・面白かったです
・文字通り、川勝さまの長年思い続けた主張を聞けました
・信念を簡潔にお話し頂いた上で、質問に対して否定すること無く答えられていた。
神様でなく生身の人間として尊敬できる方でした。
質問 5：Networking（参加者交流）について？【良かった：８】
・Ｇｏｏｄ！！
・人数がもう少し多い場合は、立食形式もあり得るかと思います
・アンダー50 は初回参加費割引があってもいいのでは？
質問 6：事務局対応（会費、料理及び進行方法など）について？【良かった：９】
・Ｇｏｏｄ！！
・温かい料理で美味しかったです
・大変お安く運営して頂いて感謝します
・今回は適切だったと思います
質問 7：「(参加者満足度）最高の会員交流会」へと進化させるためのアイディアがありましたら、教えて下さい！
（自由記述）
・考えます
・テーマを設定して議論したい
・月並みですが、結局は人と人の交流ですので、多様な人が集まることと、面白い話題が鍵かと思います
・小さなグループにして、グループ討議の時間を入れるとさらに満足度が高くなると思います
・当日の写真やアンケート結果などを HP でもっと発信されたらと思います。若手のコメントを特に目立つように！
質問 8：「会員交流会」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？【参加は無理：４】
・他に引き受けていることがあるため
・出張や急な会議等があり業務が不規則のため難しい
・関西の運営で精一杯です
【その他：４】
・時間があれば・・・
・難しいですが、出来ることがあれば・・・
・出来ればお手伝いしたいですが仕事がコントロールし辛いのでお約束が出来ないです

質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
（自由記述）
・現在時点では特になし
質問 10：その他、どのようなことでも結構です。ご意見・ご提案をお寄せ下さい！
（自由記述）
・事務局の皆様、アレンジありがとうございます。
・初参加でしたが、とても楽しめました。ありがとうございました。
・とてもよく準備していただいたと思います。ありがとうございました
ありがとうございました！

第 04 回「PMAJ ネットワーキング」2014 年 02 月 03 日（月）18：00～21:00

「JICA 技術協力プロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント」

～ミャンマーIT 人材育成プロジェクトを例に～

・・・by 増田　吉朗（独立行政法人　国際協力機構　総務部総合調整課）

（ファシリテータ：伊藤　毅　様（IC Net Ltd））

（概要）

「政府開発援助（ODA）の技術協力プロジェクトのプロジェクトマネジメントの現状と課題」について、下記の観点から発表を行います。

- JICA は年間 600 件の技プロをどのように実施しているのか
- 途上国の人材育成プロジェクトで直面する課題
- プログラム化の深化に向けて

私は IT エンジニアから国際協力の道に転身し、プロジェクトの発掘、計画立案、発注、管理、ステークホルダーとの調整、評価、自立発展へとスキームモデルからシステムモデル、サービスモデルを包含した 13 ヶ国 30 件のプロジェクトに関与してきました。これまで担当した案件の中で様々な問題に直面したミャンマーICT 人材育成プロジェクトを事例に、JICA のプロジェクトマネジメントの実情をご紹介します。プログラム化を推進している JICA における今後の課題について参加者の方々と意見交換できればと期待しています。

（プロフィール）増田　吉朗

1999 年 ロンドンシティー大学経営学部卒業

大学卒業後、Beacon IT（独立系 SW パッケージ会社）に入社し、国内の DWH システム構築プロジェクトに従事。

2002 年 米国 TimeCube, Inc に出向。時制型 DB 英語版の開発及び技術営業

2005 年 独立行政法人　国際協力機構（JICA）に転職

情報通信案件を中心に、12 ヵ国 13 件プロジェクトに従事。

2010 年 3 月 JICA ナイジェリア事務所

事務所の管理運営及び 17 件のプロジェクトを担当

2013 年 3 月 JICA 総務部総合調整課

社内の各種規程管理及び緊急時業務継続計画（BCP）担当

2013 年 4 月 PMS 取得

過日には、お忙しい中、「第 4 回 PMAJ Networking（会員交流会）-2/3」に参加頂きましてありがとうございます。如何でしたでしょうか？ 下記の如く、様々なご意見・ご感想をお寄せ頂きましてありがとうございます。今後の企画・運営に活かしてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：10 件）

質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？【達成できた：１０】
・ミャンマーのＪＩＣＡのアクティビティは理解できた。
・JICA のソフト系 ODA に関し、中堅の方から実情と見通しを聞くことができた
・JICA の ODA の事例を聞くことができ、P2M が貢献できるところが大いにあることが確認でき、よかった。
・発展途上国への援助に興味がある
・Ｐ２Ｍの改訂概要は理解できた。
・会員の一部の方とも交流できた。
・プロジェクトマネジメントに関する皆さんのお考えの一端を感じることができた
・他分野のプロジェクトについての参考にできそうな考えの違い等少し感じる事ができた。
【対応策】
・今後もテーマ選びと双方向での議論の場を通じて交流が図れるように工夫する。
質問２：今後も「PMAJ Networking（会員交流会）」に参加したいと思いますか？
【達成できた：９】
・もちろんです
・勉強になります
・得難い情報がえられる。すばらし皆さんに会える。
・参加者の専門領域の話を聞きたい。
・広い業種の方から有益な情報が聞けそうだから
・２～3 ヶ月に一度、このような交流会に参加させて頂くことで、大いに刺激を受けたいと思う
・もっと回数を増やした方が良いと思います。（たとえば月に一回ぐらい）
【その他：１】
・たまに
【対応策】
・交流が深まるように実施回数を増やしていく。（3 ケ月毎⇒2 or1 カ月毎へ？）
質問３： プログラム構成（全体）についてお尋ねします。【良かった：９】
・P2M 改訂のポイント、JICA の事例とも大変興味深かった
・データと裏話のバランスがよい。
・他の協会と比べて、どこよりも質疑が多いですね！
【その他：１】
・初めと最後に交流の時間があるのはいいと思う。
【対応策】
・今後ともファシリテータを置いて、双方向の議論が活性化するよう工夫する
質問４：今回の話題提供について？
【良かった：１０】

・データと裏話のバランスがよい。
・国際協力の具体的な内容を伺う貴重な機会となった
・内容と増田さんの熱意に感心しました
・JICA さんの PM の進め方が良く分かりました
・JICA の ODA の事例を聞くことができ、P2M が貢献できるところが大いにあることが確認でき、よかった。
【その他：１】
【対応策】
・今回も伊藤さん（アイシーネット）にファシリテータをお願いし、双方向の議論を盛り上げて頂いた。今後もこのような演出と準備に注力していきたい。
質問 5：Networking（参加者交流）について？
【良かった：８】
・質疑応答は面白かったです
・多くの方と名刺交換やお話をさせて頂き、普段は接点のない方々と繋がることができた
・2 度目ですが、顔なじみが増えてきた感があり、これからも楽しみです。
・得難い情報がえられる。すばらし皆さんに会える。
【改善の余地あり：２】
・メンバーが固定化しているような・・・
・元々面識のあるメンバー間でのコミュニケーションになっている。
・例えば話題提供の講演時間を 30 分程度にしてワールドカフェ的な意見交換の場を作ってみてはどうか
【対応策】
・少なくとも半分は新しい参加者になるように工夫する
・グローバル PM という話題が続いたので、新しい分野の新しい話題で企画する
・ワールドカフェ的なダイアログの場を工夫・演出する
（参考：ワールドカフェの 7 つの原理）
①コンテクストを設定する
・ダイアログを可能にするための目的と広範な要件を明確にする
②もてなしの空間を創造する
・個人的な快適さと、お互いを尊重する気持を育むことができるもてなしの環境と、心理的な安心感を確保する
③大切な質問を探求する
・協働を引き出すような強い力を持つ質問に対して、集合的に関心を高める
④全員の貢献を促す
・参画と相互支援を促すことによって、「個」と「全体」の関係を活性化する
⑤多様な視点を他花受粉させて、つなげる

・中核的な質問に対して共通の関心を高め、異なる視点のつながりをもつ多様性と密度を意図的に強めることにより、創発が現れる生体システムのダイナミズムを活用する
⑥パターン、洞察、より深い質問に共に耳を傾ける
・個々人の貢献を損なわずに思考の結束を育むことができるように、共通の関心事に焦点を当てる
⑦集合的発見を収穫し共有する
・集合的知識と洞察を可視化することによって行動に移せるようにする
質問 6：事務局対応（会費、料理及び進行方法など）について？
【良かった：４】
・いつもありがとうございます。
・無理なく、リラックスして参加できる。
・冬の季節にはコート用のハンガーラックなどを廊下側に用意していただけると、もっといいと・・・
【対応策】
・参加者人数に応じて、都度、料理や配膳を見直す
・コート用のハンガーラック又はクローク用のテーブルを準備する
質問 7：「(参加者満足度）最高の会員交流会」へと進化させるためのアイディアがありましたら、教えて下さい！
（自由記述）
・元々面識のあるメンバー間でのコミュニケーションになっている。
・上述のようにメンバーが固定してしまうと、新規の人が入りづらいかも・・・
・初めての参加者も融け込めるような雰囲気づくり
・はじめは敷居が高いと思いますが、一度慣れれば問題ないはずです。
・若手、女性を招待してはどうでしょうか？
・若者と女性の発表者・参加者を期待したい。
・もう少し女性や若い会員も参加しやすい雰囲気だといいですね。
・「悩み相談」なんて枠を設けてもいいかもしれません。
・テーマを決めたグループディスカッション（３～５名単位）
・例えば話題提供の講演時間を 30 分程度にして、ワールドカフェ的な意見交換の場を作ってみてはどうか
・年簡の実施予定を発表してほしい。早めに予定することで、出席者が増えると思う。
・ゲストスピーカーの招聘
【対応策】
・少なくとも半分は新しい参加者になるように工夫する
・グループ構成をシャッフルし、固定化しないように工夫する
・提供する話題のテーマを多岐に分散させ、固定化しないように工夫する

・若手・女性の参加につながるようにプロモーションに工夫する
・若手・女性との同伴での参加を促すようにインセンティブを設ける
・「悩み相談」「ワールドカフェ」的なファシリテーションを検討する
・年間の開催スケジュールを設定する
・ゲストスピーカーの公募・紹介を募る
・企画・運営機能を充実し、更に進化発展するように工夫する
質問 8 :「会員交流会」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
【参加したい：１】
・少し考えてみます！
【参加は無理：７】
・申し訳ありません、業務多忙につき・・・
・関西の運営に専念します。
・多忙なため、
【その他】
・この交流会と例会の位置づけの違いは何でしょうか？
・前回・今回の話など、いずれも例会での講演にふさわしいと思いました（というより、例会の講演は PM 業界からは遠いものが多いように感じています)。
【対応策】
・企画・運営を行なっていただく「幹事会」のようなものを組織化する
質問 9 : 次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
（自由記述）
・スマホや SNS ビジネスの方の話を聞いてみたい
【対応策】
・ご希望・ご期待に沿うようスケジューリングしてまいります。
質問 10 : その他、どのようなことでも結構です。ご意見・ご提案をお寄せ下さい！
（自由記述）
・若者と女性の発表者・参加者を期待したい。
・交流会のお知らせが、PMAJ のホームページで見つかりませんでした。
・分かりやすい場所に啓示をお願いします。
【対応策】
・年間計画とスケジューリングに工夫します。次回は４月３日（木）です。
・この場から新たなマッチングによるビジネスが生まれることを期待しています。
・積極的プロモーションして頂ければ幸いです。
ありがとうございました！

第 03 回「PMAJ ネットワーキング」2013 年 10 月 18 日（金）18：00～21:00

「プログラムのリスクマネジメント　～1.5 兆円新空港建設の舞台裏～」

・・・by 大野　紳吾（マーシュブローカージャパン）

（概要）

「プログラムリスク」とは、次のようなリスク事象を意味する。

① プログラムを構成する要素であるプロジェクト自体が失敗するリスク。

② 個別のプロジェクトにおいて適切と思われる対応が、プログラム全体から見た場合、新たなリスクをもたらす事象。

③ プログラムが志向する全体ミッションの方向性がさまざまな要因により狂い、初期のミッションとは異なった結果をもたらすというリスク。」

（新版 P2M 標準ガイドブック第 7 章リスクマネジメ ントより部分引用）

発注者側のプロジェクトマネジャとしてプログラムマネジメントを経験した中で、どんなリスクが顕在化し、その結果何が起こったのかについて情報提供した後、どんな代替策があったか、代替策に基づき異なる選択をしていればシナリオが変わっていたかについて参加者と意見交換を行う。

（プロフィール）大野　紳吾

1997 年京都大学工学部建築学科卒業、IE Business School（MBA）修了。

大学卒業後、清水建設に入社し、国内の建設プロジェクトの施工管理業務に従事。

2000 年、米系エンジニ アリング会社の Bechtel 社に転職。

中東の新空港建設プロジェクトにおいて、発注者の立場で企画・設計・入札・発注・工事監理を行うプログラムマネジメントのプロジェクトマネジャを経験した。

現在、外資系保険ブローカー会社のマーシュブローカージャパンに勤務し、建設プロジェクトに関するリスクアドバイザリーと保険ブローカー業務を行っている。

2010 年 CM シンポジウム、2012 年日本プロジェクトマネジメント協会 PM シンポジウム、2013 年海外投融資情報財団セミナー、海外建設協会などで講演。

一級建築士、一級建築施工管理技士、シックスシグマ（グリーンベルト）。PMAJ 会員。日本コンストラクションマネジメント協会（CMAJ）会員。

過日には、お忙しい中、「第 3 回 PMAJ Networking（会員交流会）-10/18」に参加頂きましてありがとうございます。如何でしたでしょうか？ 下記の如く、様々なご意見・ご感想をお寄せ頂きましてありがとうございます。今後の企画・運営に活かしてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：9 件）

質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？

【①達成された：９】

・楽しい意見が聞けた
・リスクの事例を知ること、他の参加者と交流することができた。
・日本式プロジェクトマネジメント手法の一端が、垣間見られた。
・情報提供された大野さんの内容も興味深かったし、初対面のかたと知り合えた。
・初参加でしたが、とても有意義でした。
・意見がこれだけ活発に出る会はあまり参加したことがなかったです！
・海外での大規模 Project やお国の事情など想定していた課題や難しさ、対応を教えて頂き勉強になりました。
【対応策】
・今後もテーマ選びと双方向での議論の場を通じて交流が図れるように工夫する。
質問２：今後も「PMAJ Networking（会員交流会）」に参加したいと思いますか？
【①達成された：９】
・このような情報交換を望んでいる。
・色々な業界の方との交流ができる。
・今後も有益な情報が得られると考える
・次回はもっと参加したいです。
・他業種／分野での状況や課題点等、大いに参考となり、又会員様との交流が有効である。
【③その他：１】
・テーマに応じて参加を考える
・関心のある話題であれば参加したい。
【対応策】
・交流が深まるように実施回数を増やしていく。（3 ヶ月毎⇒2 カ月毎へ？）
質問３： プログラム構成（全体）についてお尋ねします。
【①良かった：７】
・題材の提供も良かった
・限られた時間ということを考えれば、よかったと思う。
・特に時間配分は問題なかった。
・限られた時間内での対応構成、ご苦労様です。
【②改善の余地あり：３】
・18 時スタートは間に合いません。
・プレゼン内容に対する質疑時間を十分にとれるよう、第３者のファシリテータを置いて、時間をマネジしたほうがよいのではないか？
・会の構成は少し考えた方が良いと思いました。
【対応策】
・時間構成を見直す。 話題提供は 19 時スタートにする？
・第３者のファシリテータを置いて、時間マネジメントを工夫する。

質問４：会員様からの話題提供：
「プログラムのリスクマネジメント ～1.5 兆円新空港建設の舞台裏～」大野 紳吾 様（マーシュブローカージャパン）について？
【①良かった：10】
・Good！
・短い時間内に良く整理されていた
・おそらく発表者が論点としたかったことと、参加者の興味のポイントがずれていたのではないかと思う。その結果、参加者からするとちょっと情報不足と感じたが、これは仕方ないといえる範囲。全体的には整理された内容で、よかったと思う。
・プロジェクトの成功を QCD だけで計るべきか、という重要な論点が浮き彫りになった。とくに、プロジェクトの途中で逃げ出さなかった竹中工務店の所作は、経営との観点で、もっと深堀したい。
・身近な問題であり、また発注者側の本音が垣間見られた。
・弊社はコントラクターの視点でこのプロジェクトを見てきたが、ＰＭであるベクテル社の視点や、一般のエンジ企業の皆さんの視点から参考になるものがあった。
・良かったですが、その理由は参加者からダメだしが出来る講師というのが初めてで新鮮でした（笑）。
・実戦での問題・課題など経験談など短時間の中に良く纏められており、顧客やお国の事情、日本人の気質など内容も大変勉強になりました。お礼申し上げます。
【対応策】
・今回は講師の事前準備（例えば、PM 側だけの発表にせず、コントラクター側の視点も加えた、等々）が充実していたことから、議論が重層的・立体的になり、参加者満足向上につながったと思う。今後もこのような演出と準備に注力していきたい。
質問５：Networking（参加者交流）について？
【①良かった：８】
・交流できた
・時間が少なかったが、議論が盛り上がっていたので仕方ないだろう。
・十分全員の皆さんと名刺交換する時間があった。
・積極的な参加者が多かったので楽しかったです。
・他業種の方々との情報・意見の交換が出来、有意義と思います。
【②改善の余地あり：１】
・現状で OK ですが、自己紹介も最初にやっておくと良いかも（資料と名前と顔をミートさせるため）
・エンジニアリング、建築、IT に偏り過ぎ？
【対応策】
・最初に、簡単な自己紹介（又は、他者紹介）を行なう。

・名前と顔をミートさせ、交流し易くする。
・エンジニアリング、建築、IT 以外の幅広い分野からの話題提供に工夫する。
質問 6：事務局対応（会費、料理及び進行方法など）について？
【①良かった：６】
・最初からビールが出た
・十分でした！
・ご苦労様です。感謝申し上げます。
【②改善の余地あり：４】
・酒は不要では？
・かわきもの以外の料理は、余るので不要では？
・プレゼンの途中に中央のテーブルに料理を取りに行くのはやりにくいので、最初から全テーブルに分けてしまった方がよいのではないか。
・参加者に自発的に手伝ってもらうようにしたら事務局負担を軽減できるでしょう。
【対応策】
・料理と飲み物の構成を見直す。
⇒ケータリングは止め、「かわきもの」へ？
⇒ワイン等は止め、「ビール・ソフトドリンク」へ？
⇒次回のアンケートでご意見を伺い決定する
・配膳は各テーブルに分散する。
質問 7：「(参加者満足度）最高の会員交流会」へと進化させるためのアイディアがありましたら、教えて下さい！
（自由記述）
・取り敢えず、今回の継承
・目的が「場づくり」であれば今のようなやり方でいいのではないかと思う。
・３回目ということですが、こういうアンケート内容を反映して、いい方向に変えていけばいいと思います。
・自分としては満足しています。強いて言えばもう少し年齢差がある参加者がいても、と思いました。
【対応策】
・若い方々の参加を期待しています。
・お知り合いの方に是非ご紹介下さい。
質問 8：「会員交流会」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
【①参加したい：２】
・可能であれば出来る限り！
・他業種・会員間の交流普及に役立てれば幸いです。
【②参加は無理：６】

・予定時間の調整が非常に難しい
・海外出張が多く物理的にいない。
・遠方かつ、業務多忙につき、ご辞退いたします。
・関西のＫＰ会代表を務めているため、今以上の役割を担うのは難しい。
【③その他：１】
・何を頼みたいかを示して頂くと手伝いやすくなるでしょう。
【対応策】
・企画・運営を行なっていただく「幹事会」のようなものを組織化する？
質問 9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！
（話題提供者）
・参加者はスペシャリスト多いので、是非、やって欲しい。
・考える時間を頂きたく存じます。
（話題内容）
・JICA の技術協力プロジェクトにおけるプロジェクトマネジメントの実際と課題
（ただし、次回ということはなく、スケジュールの調整をさせて下さい）（伊藤さん）
・IT (クラウドサービスおよび情報セキュリティ)の最新トレンドおよびプロジェクトマネジ
メント(特に Interface management)への活用について、どなたかご教示いただければ幸甚です。（服部さん）
【対応策】
・ご希望・ご期待に沿うようスケジューリングしてまいります。
質問 10：その他、どのようなことでも結構です。ご意見・ご提案をお寄せ下さい！
（自由記述）
・次の日程はできるだけ早く決めていただきたい。できましたら、年間計画をだしてほしい。さらに、金曜の夜は避けて欲しい。他のイベントが重なりがちなので。
・ＰＭというのは多岐に渡りいろいろな業界の方がいらっしゃると思います。
是非そうした異業種の中で、実際にお仕事をさせていただけるようになりたいと思いました。今後ともよろしくお願いします。
・事務局の方々にお礼申し上げます。
【対応策】
・来年から、年間計画とスケジューリングに工夫します。次回は１２月１１日（水）です。
・この場から新たなマッチングによるビジネスが生まれることを期待しています。
・積極的プロモーションして頂ければ幸いです。
ありがとうございました！

第 02 回「PMAJ ネットワーキング」2013 年 06 月 2６日（水）18：00～21:00

「日立におけるＰＭ力強化の事業部門横断的取組み」

・・・by 岡田　公治（㈱日立製作所モノづくり戦略本部）

概要：

グローバル競争の下で環境変化が常態化し、全ての組織にとって、日常的に「変化」をマネジメントすることが求められています。その変化も大規模化・複雑化・緊急化し、従来の自社スコープのみでの対応が難しくなっています。このような背景の下に、新たな連携による取組みが模索されています。PMAJ にも多様な法人会員様がおられますので、同様のニーズが寄せられています。将来に向けた「共創の場（プラットフォーム）」として、「会員の会員による会員のための交流会」を構築していきたいと考えます。

つきましては、第１回目の参加者からのご指摘を考慮に入れながら、下記の要項で「第 2 回 PMAJ Networking（会員交流会）」を開催します。お忙しい時期とは思いますが、奮ってお気軽に、参加いただきますようご案内申し上げます。

過日には、お忙しい中、「第 2 回 PMAJ Networking（会員交流会）-6/26」に参加頂きましてありがとうございます。如何でしたでしょうか？ 下記の如く、様々なご意見・ご感想をお寄せ頂きましてありがとうございます。今後の企画・運営に活かしてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：10 件）

質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？

【①達成された：８】

・活発な意見交換ができました。

・様々な方とお話する機会を得たことは、非常に有益だった。

・出席者の思考のレベルが判り、自分の着眼レベルの見直しを反省させられた。

・日立さんのＰＭ力強化への取組みとプログラムマネジメントへの姿勢が大変参考になった。講師岡田さんに感謝。

・他事業分野／他社との交流が出来た。

・様々な企業の話が聴けました。

・参加者が前回より交流していたように感じた。

・まずはこんなものかと。参加者が次第に馴染んでくるのを期待。

【対応策】

・今後も話題提供と交流のあり方に工夫する。

・交流が深まるように実施回数を増やしていく。

質問２：今後も「PMAJ Networking（会員交流会）」に参加したいと思いますか？

【①参加したい：８】

・自分のイメージの枠を超える着眼テーマ設定の発想を得られた。
・継続的に様々な方と情報交換できる場があることは有り難い。
・他事業分野／他社での取組みや状況・課題等の情報交換が出来る。
・個人的にネットワークを作るのはむつかしいので。
・会の体裁が整ってきたように感じる。
・価値を提供できた気がする ⇒ アンケートで確認したい
・これが協会／フォーラムが狙うところかも。
【対応策】
・今後も話題提供と交流のあり方に工夫する。
・交流が深まるように実施回数を増やしていく。
質問３： プログラム構成（全体）についてお尋ねします。
【①良かった：８】
・講義、フリートークの両方があり、食事やお酒もあったので、和やかな雰囲気だった。
・絞られたテーマに関する自由闊達な意見交換・会話が出来る。
・ワク組みは良かった。
・流れに任せるのも良いと考えます。
・こんなものか！
【対応策】
・今後も話題提供と交流のあり方に工夫する。
・交流が深まるように実施回数を増やしていく。
質問４：会員企業様からの話題提供：
「日立におけるＰＭ力強化の事業部門横断的取組み」の紹介（岡田公治様）について？
【①良かった：７】
・すばらしい！
・大変参考になりました。
・多くのポイントで非常に参考になった。
・日立さんでの取組み姿勢と課題等をよく整理されわかり易く説明頂いたので、理解でき良かった。
・素晴らしかった。こんな話はなかなか聞けない。
・内容の細部はともあれ、このような活動が現に進められていることを知るだけでも価値あると思います。
【②改善の余地あり：１】
・「現場に落とし込むにはどうしたらいいか」を、集まった方々でアイディアだし出来るともっと良かった
・講師に質問が集中する時間があり、講師が辛そうに感じた。
・折角の講師からの質問、問題提起があったので、その場合「ダイアログの場」を提供した

い
【対応策】
・話題提供を起点として、ワークショップ等のイベントを加えるか検討する
・「ダイアログの場」を提供する？
質問 5：事務局からの話題提供（吉野事務局長）について？
【①良かった：６】
・事例は大変参考になりました。
・日揮時代の貴重なご経験を拝聴することができた。
・プロジェクト運営の難しさを改めて感じることができた。
・聞く機会のない他業種での経験談を交えた内容が面白く良かった。
・ベネズエラでのプロジェクトの話は、これから海外 EPC に取り組んでいく上で、大変有益でした。
【②改善の余地あり：３】
・プラントエンジ業界の PJ の姿が描けるように前置きや環境説明が欲しかった。
・話題としては楽しいが、ＰＭＡＪの視点としてはどうか？
・資格試験や書籍、研究会報告書に絡めた話題が良いかも？
【③その他：１】
・プラント色が強すぎたかナ。
【対応策】
・協会のイベントや計画を紹介し、ステアリングを受ける場にする？
質問 6：Networking（参加者交流）について？
【①良かった：６】
・参加者同士で対話が進むように、顔馴染むになるための開催回数を増やして欲しい。
・楽しかったです。
【②改善の余地あり：２】
・活発な意見交換ではあったが、議論が発散して、雑談に近い状態になってしまったのが残念。
・今回は余裕をもって交流できたように感じた
・同じテーブルだけでなく、途中シャッフルする仕組みがあると良いかも？
【対応策】
・交流を活性化するための工夫をする
・他のテーブルとのシャッフルを検討する
質問 7：事務局対応（会費、料理及び進行方法など）について？
【①良かった：６】
・1,000 円で、これだけの場を提供するのは至難の業。
・リーズナブルと考えます。

・ご苦労様です。お礼申し上げます。
・とりわけ皿があったのはよかった。
【②改善の余地あり：１】　・とりわけ用のスプーン、菜箸、紙タオルはもらえるか？
・時間コントロールが出来なかった…基準が必要？
・乾杯の前に主催者あいさつがあると良いかも。
・PM メンターを募集しても良いかも
・川勝さんの記事紹介は何故実施？ … うまくやらないと伝わらない。
・参加者が自分たちのアピールを始めたけど、それは有り？
【③その他：１】
【対応策】
・時間管理とファシリテーションに工夫する
・乾杯の前に主催者挨拶を追加する
質問 8 :「(参加者満足度）最高の会員交流会」へと進化させるためのアイディアがありましたら、教えて下さい！
（自由記述）
・参加者同士が親近感を持つ「話題提供」が出来ると良い。その為には講義形式よりワークショップの方が良い（共同体験を持つため）
【対応策】
・交流を深めるための「ワークショップ」を検討する
質問 9 :「会員交流会」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
【①参加したい：２】
・ご期待に応えられるかどうかはわかりませんが、Ｐ２M活用の相互理解や普及の為には、親睦も含めた実務ベースでの率直な意見や情報交換が大いに役立つと思います。
・参加していますが、事務局として参加するメリット（価値）は？…「会員交流会」をデザインできる事？
【②参加は無理：４】
・業務の都合で難しいです。
・現業が多忙で、お手伝いする余裕がありません。申し訳ありません。
【③その他：２】
・作業内容について、一度話を聞く機会があれば・・・。
・質問１０に記載のコメントに絡んで、関わりが出てくれば協力させて頂きます。
【対応策】
・アンケート等を通じて、企画案等を募る
・企画に参加できるように「幹事会」等を検討する
質問 10 : その他、どのようなことでも結構です。ご意見・ご提案をお寄せ下さい！
（自由記述）

・ネットワーキングでいろいろ話し合えました。どうもありがとうございました。
・是非、継続して下さい。
・少し、コンサル側の立場の人が多いように感じます。
・自己紹介の書きっぷりの違いが大き過ぎるように思います。また、配布はされましたが、余り目を通す時間が無かったように思います。
〇次もやりたい事(keep)
・今回の式次第
・料理の取り皿(紙皿不要)
・島を４つに乾きもの４つ、中央にお料理とお酒、ドリンク
・話題提供者の困りごと提供…異業種に聞きたい事
〇改善したい事(problem)
・話題提供者への質問集中
・料理の付けたし（スプーン、紙フキン、菜箸）
・とっさの時間管理
〇チャレンジしたい事(try)
・話題提供者の困りごと解決
・この会からビジネスを創造する
・企業会員をご招待する
☆「交流会」を“現在”必要としていない方は？
・企業所属、外部に興味が無い、上司の命令が無い、価値を感じない…受け身姿勢の方
→“必要性”を感じさせるムーブメントを如何にして起こすか。
…Ｐ２Ｍを用いてデザインしたい
・PMAJ の SIG 活動として、以前に PMRC を興したが時期尚早であったためか、次第に活動が衰退したため休止している。当時収集・計画した資料は残っているので本活動に利用できるか否か、調査する価値あるかと思います。
【対応策】
・自己紹介（プロフィール）の記述方法を整合させる
・自己紹介（プロフィール）は事前に参加者に配布する
・形に囚われず、フィードバックを受けながら改善を加える
・認知向上の為のプロモーションを工夫する
・「継続は力なり」を信じて、コンスタントに継続する
・PMAJ Networking の目的・目標に就きましては、多種多様な会員の相互交流を通じて、
①情報交換、ベストプラクティス交換、人脈構築、異業種交流、の場の提供
②会員様相互の強みを活かし合った新たなビジネスの開発の機会提供
③異業種間オープンイノベーションの為の「共創の場」の提供
④協会運営に対するステアリング機能の発揮

⑤「会員の、会員による、会員のための交流会」の実現、
⑥「会員への価値提供」を通じて会員増につなげる
等を期待しています。
ありがとうございました！

第 01 回「PMAJ ネットワーキング」2013 年 3 月 29 日（金）18：00～21:00
①　　新刊「IT 分野のための P2M ハンドブック」の紹介
・・・by 佐藤　義男（株式会社ピーエム・アラインメント）
②　　新刊「プロジェクトの概念－PM の知恵に学ぶ」の紹介
・・・by 光藤　昭男（PMAJ 理事長）

過日には、年度末のお忙しい中、「第 1 回 PMAJ 異業種交流会-3/29」に参加頂きましてありがとうございます。トライアルとしての実施でしたが、如何でしたでしょうか？ 下記の如く、様々なご意見・ご感想をお寄せ頂きましてありがとうございます。今後の企画・運営に活かしてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

お寄せ頂きましたアンケート結果は、下記の通りでした。（総数：10 件）
質問１：参加の目的・期待は達成されましたか？
【①達成された：1】
・弊社メンバーが多かったため、異業種の人との交流という点では物足りない点がありましたが、特定の方とゆっくりお話をすることができた点は良かったです
【②達成されなかった：3】
・参加者全員と名刺交換できなかった
・「コミュニケーションは重要、交流は大切」と同会で発言する人もいた。しかし全く交流会でなく、発表会であった。皮肉な事に同会が終了した後、名刺交換になって初めて本当の交流が行われた。このやり方では誰も参加してこない。
・IT 系の方が殆どで異業種間とはいえず、また自己紹介ばかりで交流も出来ず残念でした。（自己紹介時の質疑応答を交流とお考えであれば仕方ありませんが）
【③その他：2】
・もう少し、多くの方と交流したかった（時間的に無理ですが）
・出席いただいた会社の情報が会社名と部署、担当名しかなかった為。
【対応策】
・交流会中心のプログラム構成に見直す
・配布資料に参加者のプロフィールを充実する
質問２：今後も「PMAJ 異業種交流会」に参加したいと思いますか？
【①参加したい：4】
・新しい人脈が作れそうな気がする。
・いろいろな会社の方と交流を広げたい。
・社外の色々な方との交流は重要であると考えております
【②参加したくない：2】
・交流会ではないから。真の交流会にするには、ＰＭＡＪが参加者を紹介し、簡単な話題提

供をするだけ。交流会参加企業のどこかに話題提供をさせると、「自社宣伝」にならざるを得ない。他の参加企業にとって「シラケ」るだけ。興味ない人には「退屈」なだけ。ＰＭＡＪが当該企業を紹介する。紹介された企業にとっても名誉になり、客観性が生まれる。とにかく建前を捨て、「本音と本気」が交流会から生まれれば成功する。交流会は最初にＰＭＡＪが参加者紹介とサプライズを提供し、後はアルコールを入れてガヤガヤ会話をすれば、楽しくなるだろう。次回の交流会を成功させないと、後は続かない。
・１社の多数出席、且つその会社だけが製品紹介をも含むプレゼンを許された為、その会社主催の営業の場と見えてしまった事が結果的に残念でした。
【③その他：0】
【対応策】
・自己紹介や自社宣伝は避け、「本音と本気」の交流会にする
・各社からの参加者数を「２名以下」とする
・製品紹介等のプレゼンは許可しない
・事務局のプログラム能力とファシリテーション能力を強化する
質問３： プログラム構成（全体）についてお尋ねします。
【①良かった：0】
【②改善の余地あり：6】
・他社の方と交流できたのはカタール現場紹介後の数分だけでした。冒頭にも書きましたがこれを交流会とは言い難いと考えます。
・真の交流会にすべき。自己紹介は時間の浪費。内容にバラ付き、プレゼンの巧拙があり、最も行ってはならない方法。クラス会なら自己紹介は面白い。しかし異業種交流会なら他者紹介が当然。何故なら客観性とレベル統一性があるから。
・ワークショップが良かった
・もっと気軽に参加できる雰囲気がほしい
・フリーの時間をもっと増やしてほしかった。
・自己紹介終了後の懇親会の時間が若干短かったような気がします
【③その他：0】
【対応策】
・自己紹介→他者紹介に変更する
・フリーな懇親会の時間を増やす
・ワークショップ等の交流の場を検討する
質問４：「新刊「IT 分野のための P2M ハンドブック」の紹介（佐藤義男）について？
【①良かった：3】
・時間制約の中で良い説明だった。具体的事例を示し、理論的説明（具象→抽象）に持って行ければ最高！ しかし時間が３０分では無理かも。筆者は、ＰＭＡＪの理事をしている。この本をＰＭＡＪで割引で買える。しかし敢えてジュンク堂で買うことにした。それだけＰ

Ｒになるからだ。ＰＭＡＪを支援する人は是非この様にして欲しい。
・永遠の課題とも思えるシステム製作時における IT サイドが顧客の業務やニーズを捕らえきれない部分を補う機能の進化が感じられ、興味深く聞かせて頂いた。
・書籍の内容がよくわかり、購入しました
【②改善の余地あり：0】
【③その他：2】
・まだ、読み終わっていないので、わかりませんが少し難しそうに感じました。
・残念ながら参加できませんでした
質問５：「新刊「プロジェクトの概念－PM の知恵に学ぶ」の紹介（光藤理事長）について？
【①良かった：3】
・光藤理事長がピンチヒッターとして急遽説明したとのこと。分かり易く見事な説明だった。この本を上記の目的から、書店で買うことにした。
・このような取り組みをなさっている事を始めて知り、これも興味深く聞かせて頂いた
・このような書籍で大学の講義が行われていることを知ることができてよかったです
【②改善の余地あり：0】
【③その他：2】
・これから読みますので内容は分かりませんが、こちらの方が現在の仕事に直結している感じがして理解しやすそうでした。
・ほとんど終了時に参加したので内容がわかりません
質問６：②参加者自己紹介と Q&A について？
【①良かった：1】
・今回は人数が少なかったので良いと思いますが、人数が増えてきたら、やり方を変えた方が良いかもしれません。
【②改善の余地あり：5】
・「話題提供」になっていなかった。…そこから各テーブルで会話があっただろうか
・上記の通り。自己紹介自体を止める。主催者による他者紹介（被紹介者を起立して貰う）
・自分を含め話が長く飽きた。
・ちょっと長かったように思います。
・最初にやったほうが良かった。
【③その他：0】
【対応策】
・自己紹介は止める
・参加者紹介は最初に行う
・時間管理を徹底する
質問７：③参加者交流について？
【①良かった：1】

・他の会社の人とお話が出来て良かったです。勉強になりました。
【②改善の余地あり：5】
・最低の交流会だった。これでは単なる「説明会」と「自己紹介と質問の会」 交流とは１対１の対話。興味のない、関心が薄い話題など誰も聞きたくないのが「本音」では。
ＰＭＡＪに参加する人達は、勉強家で真面目な人が多い。元来日本人は世界で最も発言しない、おとなしい民族だ。この性癖と行動が逆にＰＭＡＪだけでなく、この国の在り方を歪めてしまう。このアンケートにも「ズケズケ」本音を書く人はいないだろう。筆者はストレートに書いているが、同じ思いをしているアンケート回答者がいるかもしれない。
・交流していない。バタバタと名刺交換のみになった
・数分しかなかったのでコメントのしようがありません。
・ちょっと短かったように思います。
・参加企業の数が少ない。
【③その他：0】
【対応策】
・１対１の交流の時間を増やす
・説明会と自己紹介と質問の時間を少なくする
・参加企業数を増やす
質問８：事務局対応（会費、料理及び進行方法など）について？
【①良かった：4】
・１０００円の参加費でこれ以上は望めないのでは。
・会費は安くて良かった。
・良かったと思います。
・会費も安く、気軽に参加できます。随時、ビールを供給されていたようで、ありがとうございました。
【②改善の余地あり：2】
・事務局関係を紹介する必要あるか？結婚式でスタッフが紹介されるようなもの。
・質問も都度されるとぐったりする
・会費、料理、飲物は問題ありませんが、３分とは思えない長いスピーチや宣伝を許す進行と企画に疑問を感じざるを得ませんでした。
【③その他：0】
【対応策】
・事務局のファシリテーション能力を強化する
・事前の準備とシミュレーションを徹底する
質問９：「(参加者満足度) 最高の異業種交流会」へと進化させるためのアイディアがありましたら、教えて下さい！
（自由記述）

・それぞれの会社を知ってもらうことは重要だが、宣伝では交流とならない。企業（の中の個人）からの課題や問題提起とディスカッションなどどうでしょうか？
・「使命」と「戦略」を明確にして、再デザインする
・ＰＭＡＪ個人会員
ＰＭＡＪが幾ら高邁な目標を掲げ、優れた工学や技術の研究と啓蒙をしても、ＰＭＡＪを支える個人が存在しなければ、ＰＭＡＪは、「砂上の楼閣」になってしまう。ＰＭＡＪに加入し、年会費を支払っている個人こそ最も重要な存在である。彼らにＰＭ資格の授与、ＰＭ技術の授与など理性的充足だけでなく、ＰＭＡＪに加入して「楽しい」、「ウキウキ」するという感性的充足を与えれば、会員への「顧客満足」となるのではないか。
・筆者は、ＰＭメンターを仰せつかっている。今回もその立場で異業種交流会に参加した。しかし交流が無い以上、メンターの役割も果たせなかった。また誰もそんなことすら期待していなかった。大変厳しい言い方で、許して欲しいが、個人会員への価値創造や各種交流会などに関して、Ｐ２Ｍや伝統的ＰＭの「考え方」と「方法論」を適用して、成果を出すべきではないか。でないとＰＭＡＪはＰＭを世の中に訴える資格はない。
・ＰＭＡＪ法人会員
ＰＭＡＪの法人会員へのサービスが欠落している。最も高い年会費を支払っているのだ。「顧客満足」の観点から徹底して法人会員へのサービスを考えることである。法人会員に満足して貰うため今回の「異業種交流会」が開催されたと聞き及んでいる。大変結構なことである。
法人会員へのサービスとして「訪問講演」を実施してはどうか。法人会員企業に出向き、講演をするなら、集客作業、会場設定、ＰＲなど一切しなくて、講師を選び、講師を派遣するだけで良い。法人会員は高い年会費を払っているのだから無償で講演してはどうか。
１にも２にも法人会員が「ありがとう」と喜んでくれることである。
本会終了後、本当の「交流」が行われた時、某社の某人物から「私の会社で講演して欲しいです」と言われた。「無償でＯＫ」と言ったとところ「是非」と嬉しそうな笑みが出た。「法人会員向け無料訪問講演」として実験的に実施してはどうか。ＰＭＡＪからも講演料
など貰う積りはない。
・時間は全部で２時間くらいが妥当。講演も３０分程度のもの１本で十分。１社からの参加者は２名程度に押さえ、自社説明は代表者が簡潔に行うだけで宜しいかと。また個別の業者が宣伝のために開く会ではないので、物を売る側からの連絡は控え、買う側からの連絡から発展する Win-Win の関係を目指すべきかと。
・他の異業種交流会に出席した時に良いと思ったことを記述いたします。事前に参加される会社の参加者リストが欲しいです。簡単で結構ですので、どのような会社で、どのようなことをしている会社か事前にわかれば準備できるものがあるかもしれません。イメージ的には、会社概要の抜粋版のようなものになります。以前は良く三井生命主催の交流会に出席していたことがあり、そのような資料を事前にいただいていました。（その時の交流会規模は

200 社ぐらい集まる交流会でしたが。）
・今回は書籍の紹介をされていましたが、協会で入手しているプロジェクトマネジメントに関する最新情報や最新手法等を講演して頂けると興味深く聞くことができるのではないかと思いました。
【対応策】
・「使命」と「戦略」を明確にして、再デザインする
・ＰＭＡＪに加入して「楽しい」、「ウキウキ」するという感性的充足を目的とする
・個人会員及び法人会員への価値創造や各種交流会などに関して、Ｐ２Ｍを適用する
・「法人会員向け無料訪問講演」を検討する
・時間は２時間として、話題提供は３０分程度のもの１本にする
・１社からの参加者は２名程度に押さえる
・売る側からの発言は避け、買う側からの発言を起点とするよう努める
・win-win の関係構築を目指す
・事前に参加者リストと会社概要の情報を配布する
・協会からの最新情報や最新手法等を提供する
質問 10：「異業種交流会」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？
【①参加したい：0】
【②参加は無理：2】
・申し訳ありませんが、業務の状況を考えると、ちょっと無理そうです。
【③その他：3】
・時間が無い。参加な無理と断定できないが、日時に依る。
・平日、９時～１８時が勤務時間で残業することもあるので参加したいがあまりお役に立てそうにありません。
・日程が合うようでしたらお手伝いさせていただきます。
【対応策】
・メーリングリストベースで企画立案にご協力頂く
・参加可能な方の当日ボランティアをお願いする
質問 11：その他、どのようなことでも結構です。ご意見・ご提案をお寄せ下さい！
（自由記述）
・法人会員が対象ということですが、いきなり集まってくださいというより各企業と事前の打ち合わせ（ヒアリング）をしたらどうでしょうか。企業ごとに要望も違うと思います。個別の打ち合わせの中で交流会の参加を呼び掛けたほうが参加企業も増えると思います。
【対応策】
・会員企業様のニーズを事前ヒアリングする
・個別に交流会への参加を呼び掛ける
ありがとうございました！

【対応策】サマリー
・「使命」と「戦略」を明確にして、再デザインする
・交流中心のプログラム構成に見直す
・事前の準備とシミュレーションを徹底する
・会員価値を高める
・個人会員及び法人会員への価値創造や各種交流会などに関して、Ｐ２Ｍを適用する
・事前に参加者リストと会社概要の情報を配布する
・配布資料に参加者のプロフィールを充実する
・各社からの参加者数を「２名以下」とする
・１社からの参加者は「２名以下」とする
・製品紹介等のプレゼンは許可しない
・売る側からの発言は避け、買う側からの発言を起点とするよう努める
・事務局のプログラム能力とファシリテーション能力を強化する
・事務局のファシリテーション能力を強化する
・自己紹介は止める
・自己紹介や自社宣伝は避ける
・自己紹介→他者紹介に変更する
・フリーな懇親会の時間を増やす
・ワークショップ等の交流の場を検討する
・参加者紹介は最初に行う
・参加企業数を増やす
・個別に交流会への参加を呼び掛ける
・会員企業様のニーズを事前ヒアリングする
・時間管理を徹底する
・時間は２時間として、話題提供は３０分程度のもの１本にする
・説明会と自己紹介と質問の時間を少なくする
・１対１の交流の時間を増やす
・「本音と本気」の交流会にする
・ＰＭＡＪに加入して「楽しい」、「ウキウキ」するという感性的充足を目的とする
・「法人会員向け無料訪問講演」を検討する
・win-win の関係構築を目指す
・協会からの最新情報や最新手法等を提供する
・メーリングリストベースで企画立案にご協力頂く
・参加可能な方の当日ボランティアをお願いする
・2 時間程度で中締めを入れる
・協会からの連絡事項は、中締め後に行う

・会の名称を、「PMAJ Networking（会員交流会）」に変更する